大正九年十二月十七日　第三種郵便物認可

夕刊
十一月十九日

本紙定價　一部五錢　一ケ月壹圓
廣告料金　普通一行壹圓五拾錢　特別一行貳圓五拾錢
發行所　新京永樂町四ノ一　新京日日新聞社
電話【編輯部專用三二一五　營業部專用三三〇〇】
發行人　十河榮忠
編輯人　松本勇
印刷人　水越內之介

北支新政權運動進む

華北四省民間代表者　自治確立を決議
首腦者及び五中全會へ通電　民衆を救へと絕叫

【天津十八日發國通】河北、察哈爾、山東、綏遠各民間機關代表者數十名は十八日天津某所に會合し時局に對する緊急協議會を開き討議の結果自治政權の即時確立を決議し京津衛戍司令宋哲元、河北省主席商震、山東省主席韓復榘、山西省徐世昌、綏遠省主席傅作義、察哈爾主席代理張自忠、北平市長秦德純、天津市長程克、青島市長沈鴻烈の諸氏に對し「華北民衆は殷汝耕氏及北平商會の提唱せる政權の開放を絕對的に贊同支持す、速に自治を斷行宣布し、經濟恢復、赤化防止、隣邦敦睦の目的に向つて邁進、水深火熱の苦より民衆を救へ、時期切迫す、事の成敗を問ふこと勿れ」との主旨より成る通電を發した、又同時に南京政府並に五中全會に對し大要左の如き通電を發した

「各位樞要の地位に就いてより既に八年師を失ひ地を失ふ・又北支民衆亦歷年困苦に呻吟するをも顧みず近くは共匪を北方に逐ひ又現銀集中政策を採り北支を混亂に導く、今や忍ぶべからず吾等蹶起しこれ等の秕政を免るべく自治を達成せんとす」

中華民主同盟會、國民自救總會、河北各縣代表聯席會議、天津工商業聯合會、山東人民自治協會、綏遠軍政自治協會、河南全省人民自救會、察綏省民聯合會

華北防共自治委　五省代表を以て廿日成立

【北平十九日發國通至急報】二十日組織される事となつた華北防共自治委員會は河北、察哈爾、山東の三省の外に山西、綏遠も遂に之れに參加し代表を送るに決定、華北五省の聯繫は玆に成り國民政府に對する一大勢力の出現となつた、同委員會の顔觸左の如し

▲委員長　宋哲元(平津衛戍司令)
▲委員　閻錫山(山西、綏遠、綏靖主任)
商震(河北省主席)
韓復榘(山東省主席)
蕭振瀛(察哈爾省主席)
徐永昌(山西省主席)
傅作義(綏遠省主席)
張自忠(第三十二軍團代理軍長)
秦德純(北平特別市長)
程克(平津特別市長)
沈鴻烈(青島特別市長)

閻錫山氏は五全大會の爲め南京にあり出席出來ないが主席代理徐永昌氏並に朱綏光參謀長が創立大會には出席する、此の委員會の下に交通、經濟の兩委員會が設置され專門家を網羅して北支再建に當るものである

獨立氣運に　南京政府の苦肉策

【上海十八日發國通】北支那情勢が急速なるテンポを以て獨立自治の政治形態に向つて進展しつゝあるに對し南京中央政府當局は極力之れを喰止めるのに躍起となり平漢、津浦兩沿線に兵力を移動、熊斌の北上等政治的切崩し策に腐心して居るが當地某方面の情報に依ると中央の藏する北支の政治機構試案なるものは北平軍事分會及び平津衛戍司令部を撤廢し察哈爾、河北を一丸とした冀察綏靖公署を新設し宋哲元氏を推薦、主任に任命するのではないかと傳へられてゐる

南軍司令官　電々見物へ

南關東軍司令官は本日午前九時半より大同廣場の電々新廳舍視察を行つた(寫眞は屋上視察中の一行)

河北省に現はれた新紙幣への關心
政治的、經濟的にも大失敗　物價は二割方昂騰

【天津にて十七日金久保特派員發】國民政府の新通貨政策は全支民衆に多大な衝撃を與へ銀國有令に對する反對は益々擴大して支那は財政的に北、中、南支に三分された形である、北支においては既に河北、チヤハル、山東、山西、綏遠五省共銀國有に對する絕對反對を表明し、北支自治政權樹立運動の進展に伴ひ財政的に南京政府より離脫せんとする空氣が濃厚となりつゝある、而して河北における中心的通貨である天津票發券銀行たる天津銀行では現銀準備保管分行を天津に設置し平津地方の現銀を一手に集中、保管せんとの意嚮を有してゐるが同案に對しても天津、北平銀行團では反對的態度に出で北平では現銀は從前通り各銀行別に保管すべしと決議をしてゐる位で國民政府の銀國有令は北支に關する限り全く空文となつてしまつた、然し乍ら銀國有令の施行が北支に及ぼせる影響は相當甚大で、天津、北平では法令施行以來既に二割余の物價昂騰を惹起し市政當局では十五日來暴利取締令を發して物價暴騰の防止策に出てゐる、新通貨政策は金融破綻に瀕せる國民政府の狂氣的財政更生策であつたが、政府の意圖に反して、財政的には勿論、政治的にも北支獨立を促進せしめた逆効果を招來してゐる、十七日に至り河北省にも中國銀行の新紙幣がポツ〱現れたが、新紙幣は紙幣の兩面に「國」の字が印刷されたもので錢舖でも在來の紙幣と同價値には取扱つてゐない、一般市民も新紙幣を問題してゐないので國民政府が如何に銀國有によるインフレ政策を斷行せんとしても國民はこれを受付けないといふ現狀に置かれてゐる、これを同時に北支における在來の中國銀行紙幣も漸次信用を失ひつゝあり「北支人の北支」建設の政治的策動に呼應して財政的にも獨立氣運が釀成され、北支通貨の統一が一般から要望されるに至つた

日支親善提携に就て　丁代理大使
重光次官と會見

【東京國通】駐日民國代理大使丁參事官は十八日午後四時外務省に重光次官を訪問し最近の日支兩國內に於る友好關係惡化に鑑み右緩和策とも見らるべき先に廣田外相、蔣大使間に交換された日支親善に關する三大項目の具體化に就き會談し約一時間の後辭去した右につき丁代理大使は

日支兩國間の友好關係に關しては先に廣田外相、蔣大使間に於て日支親善提携交涉の大綱につき相互の意見交換を爲したが、我南京政府は更に一歩進めて之れが具體案にまで進めて行きたいと言ふ意向を有してゐるので、この趣旨については日本側も何等異存なきものと思惟されてゐるが右具體案の方法及び手續きに關し日本側の意見あらば承りたい

旨を述べ南京政府の日支親善增進の具體的進捗要望につき卒直に意向を開陳した、これに對し重光次官は

無論我が外務當局に於ても日支兩國間に親善提携交涉を進めることに就いては何等異存なく又右具體案の手續方法に就ては別に意見と言ふものはないが、支那側に於て特別なる公案を有せらるるならば示されたい

と述べ

我が方としては有吉大使と汪外交部長との間及び蔣駐日大使と廣田外相との間に漸次進めて行く方が適當と信ず、尙この際具體的交渉を進捗せしむるに當り特に注意すべき事は北支に於ける最近の事態に就き支那側は日滿兩國との間に圓滿且つ滿足なる事態を招來せしむる事を充分考慮せねばならないことである、何れによるも日支間の實際的現實に適するやう考慮すべきである

と述べ同代理大使は最近の報道によれば支那側が現在の國內狀態よりして萬一の場合日本に對して備へるため軍隊を動員せしめてゐるとの事であるが、右は全く根據無きものであつて支那としては一意日支提携あるのみである

との旨を特に强調して會見を終へた

廣田外相中心に協議

重光、丁兩氏會談後、廣田外相は自室に重光次官、桑島局長を招致し先づ次官より丁氏との會談內容を聽取したる後廣田外相、蔣大使間に行はれたる日支提携に關する

一、排日、抗日を絕滅し日支間に於て相協力し益々兩國關係を緊密ならしめる
一、日、滿、支三國間の關係は事實上接壤し居るを以て右三國間は友交關係を增進する
一、赤化防止に關しては日支兩國相協力しなければならぬ

の日支提携に關する三大項目に就き重要協議を遂げたが、支那側の日支親善具體化に就ては暗々裡に滿洲國承認問題にも觸れてゐる模樣で我が方としても極力右承認方を促進するものと思はれる

滿蒙班長影佐中佐　陸相と會見
車中で北支狀況を報告

【東京國通】軍務局滿蒙班長影佐中佐は午前十時外務省に守島東亞第一課長を訪問して銀國有令其の後の狀況、北支現狀等に就き協議したが同中佐は外務當局と打合せ後十九日發、二十日演習地より川島陸相を途中に出迎へ車中に於て北支現狀、南京政府の動向を詳細報告する筈である、尙川島陸相は同中佐の報告を基礎に對支問題で關係者に何等かの積極進言を行ふ模樣である

北支新事態に對する帝國政府の態度
南京側が武力彈壓せぬ限り　國內問題として靜觀

【東京國通】北支聯省自治政府の樹立に關しては出先官憲より廿日頃宣言を發する旨外務省に情報が到着してゐるが右に對する帝國政府の見解は左の如くである

一、北支那の自治權樹立運動は支那有力者間に支那民衆の安寧幸福の爲に起つたもので國內問題なるが故にこの際云々すべき筋合でなく只成行を注視するのみである
一、然し右運動に對し國民政府では中央軍を北上せしめ武力鎭壓を行ふと傳へられるが此の種事態が北支那に起る場合には停戰協定並に去る六月の梅津駐屯軍司令官と何應欽氏との協約に違反するものなるが故に平津の治安維持に就ては斷乎たる方針を以つて臨むものである

英國側には　有吉大使から正式回答

【東京國通】リースロス氏とカドガン大使は十五日有吉大使を訪問、對支借款に關し日本の援助を再度要望したが外務省當局としては陸軍、大藏兩省や民間業者と愼重協議し借款及び今回の幣制改革は支那經濟の恢復を助くるものでないとの結論を得たので十六日有吉大使に訓電、英國の提案に正式回答を爲すべき旨を指示した、右回答の趣旨は左の通りである

一、幣制改革は支那內部の政治的紛糾を助長するのみならず現銀の中央集中は地方經濟を委縮せしめ反つて經濟恢復を阻碍するものであるから贊成出來ぬ
一、借款は將來支那の國民に對し負擔を殘し財政整理を困難に陷らしめ、一部要人の政治的野心達成の爲めに利用せられ政局の安定を阻碍するから反對だ

尙は有吉大使は近日中に英國側にこれを手交の筈である

リースロス　日本に立寄る

【上海十八日發國通】リースロス氏は十八日正午日本人俱樂部に於る月曜會に出席して約二時間に亘り支那幣制改革に關する講演を試みた 尙歸國の途次には日本に立寄り當局と懇談すべきことを言明した

唐次長　石射總領事訪問

【上海十八日發國通】外交部次長唐有壬氏は今朝十時石射總領事を訪問、饗樂安路、南京路兩事件の善後措置に就き二時間に亘つて懇談を遂げた

汪精衛氏　引續き快方

【南京十八日發國通】汪精衛氏はその後引續き南京中央病院で係り醫師の手厚い看護を受けてをり負傷箇所も次第に快方に向つてゐるが十六日午後四時半支那側記者を病床に引見し遭難後最初の會談を行つた、汪氏は頭髮を短く刈つたのと左の眼附近を繃帶で巻いてをり顔色が稍々青ざめて見える以外以前に比し大した變れも見せず力强く左の如く語つた由である

傷は大分快くなつた、醫者は一日五分位は床の上に起きてゐても好いと言つてゐる、最初は少し眩暈がしたが最近ではすつかり眩暈もしなくなつた、十一月一日に三發の彈丸を受けた時にはもう助からないと思つたが最新醫學の力で奇蹟的に命拾ひをした革命家にとつては革命の爲に命を捨てるのは何等後悔もない、特に國家の危機に於ては生も亦必ずしも幸福ではない、今後私は生のある限り三十年來續けて來た革命の仕事を續ける決心である

岡村少將　支那現狀を報告

【東京國通】參謀本部第二部長岡村少將は支那旅行よりの歸途下關で大演習地より歸京の途にあつた杉山參謀次長と會見三時間に亘り支那の現狀を詳細に報告說明したが更に十八日午后參謀本部で支那關係部員全部に約三時間に亘り支那視察の結果と將來の動向につき詳細說明した

國府の先手を打つて急速に決行せん
巨頭の勢揃ひを待つのみ

【北平十八日發國通】自治政權樹立の運動は十七日の各派代表者會議に於て全方策の最後的決定を爲し自治宣言の起草も終り今や諸巨頭の勢揃ひを待つばかりである、聞くところによれば商震氏は十八日夜既に入平し韓復榘氏は十九日中に飛行機にて乘込むこととなつたが國民政府はこの北支の新事態を非常的手段に訴へて粉碎せんとする氣配が濃厚となつたので自治宣言は之に先手を打つて行はるべく分秒の急が告げられてゐる

國防豫算省議　本日より開始さる

【東京國通】明年度豫算の最難關たる國防豫算省議は十八日開始の豫定だつたが事務當局の都合上と高橋藏相が齒の治療をする爲本日より開始する事となつた、大藏當局も重大時局故同豫算査定に愼重な態度を以て臨み國防費の承認可能額三億數千萬圓の現在に於て閣議に於ける復活要求は必至とみ豫算省議で準備工作を相當爲しおく必要ありとの意向の如くである、先週以來順調だつた豫算省議が停頓氣味なのも大藏當局の愼重な用意に基くものと觀らる

陸軍側の態度

【東京國通】陸軍豫算に大藏當局が大斧鉞を加へる意向があるので陸軍では大演習より川島陸相歸京後二十二日の閣議までに陸軍、大藏折衝經過を說明して既定方針通り新規要求額承認を目標として邁進するに決した、尙新規要求の最重要費目に對しては左の見解で進むことになつてゐる

一、航空充實費六千八百萬圓は大藏省の承認濟みで問題ないが列强の空軍の現狀に鑑みて不可缺である
一、資材整備費一億五千萬圓は支那滿洲を中心とせる接壤國の兵力及び國際關係逼迫よりして世界列强より劣勢なる我軍備に緊急を要するは當然であつてこの計畫では右金額は最小限で右以上の減額は出來ない
一、滿洲事件費一億六千萬圓は新規要求すべきではなく標準豫算に組まるべきだが在滿部隊の兵備狀況治安維持の現狀よりみて減額出來ぬ

尙大藏省が赤字漸減政策を堅持して斧鉞を加へんとするならば研究してゐた財政政策、公債政策を提示して初志貫徹に邁進し國家財政調整の大局論を基礎とする新樣式豫算の編成確立を爲すやう力說する

市稅條例案　その他を附議
昨日の自治委員會

新京特別市第二十九回自治委員會例會は十八日午後一時から市公署會議室で開催され、宇王委員長の報告あつて後、宇山財務處長から康德二年度新京特別市一般および特別會計決算書を報告引續き

一、康德二年度追加更正豫算書
一、文廟小學校學生食堂折毀處分の件
一、長春路所在市有房屋廢棄處分の件
一、市稅條例
一、督促手數料および延滯金條例
一、市有土地貸付規則

などを附議した、うち市稅條例案はさきの地方稅改正に伴ふもので、從來徵收されてゐた營業稅が國稅になつたゝめ附加捐に代り、また戶別捐の如き總額十萬圓だつたのが約四萬圓に減額されることゝなつてゐる、土地貸付規則の改正は最近國都の異常な發展とゝもに、從來僅かに四等級だつたものを等別を增して合理化するとゝもに、負擔の公平を期さうといふにある

駐日伯大使着任

【神戶國通】日本駐在ブラジル大使ピエトロ・レオン・ウエローゾ氏は十八日午后五時半神戶入港の太洋丸で着任した

人事往來

▲永野修身大將(海軍々縮帝國全權)十八日午後通過歐洲へ
▲永井松三氏(同)同
▲久下沼警視(大連警察署長)十九日午前來京
▲佐々木謙一郎氏(滿鐵理事)同
▲塚越保氏(ハルビン會社員)十八日午後來京ヤマトホテル
▲山田隆禧氏(同部員)同
▲大槻壽氏(關東局技師)同
▲塚本淸太郎氏(同)同
▲目崎憲司氏(住友會社員)同
▲新田忠平氏(安東商工會議所)同
▲八谷實氏(安東領事館)同
▲淺川眞砂氏(東京造船所重役)同
▲今林房太郎氏(長崎商業)同
▲大澄武一氏(ウラジオ總領事館)同
▲淸野謙氏(奉天チエルベンジ會社員)同
▲龜井正俊氏(日本塗裝會社々長)同
▲中村法輔氏(同社員)同
▲弓場常太郎氏(同)同
▲宮澤惟重氏(滿鐵地方部長)十八日午前九時離京
▲市川健吉氏(滿鐵經理部長)同

その日〱

軍縮全權一行過京英京へ、松岡のジユネーブを今度は永野ロンドンで……の覺悟
□
右するか左するか危ぶまれた商震、北支民衆と共にゆきそう、馬占山とは頭が違ふ、か
□
今回こそ辭任などゝ騷がれた宇垣朝鮮總督、また歸つて來た、ワニ面に水はこちらがピツタリ
□
修首都警察總監遂に病に斃る事變以前からそしてその後注目の一人であつた
□
時局後援會名を報公會と改稱なるほど時局後援會とは妙な名稱ではあつた

愈よ出來上つた 新京神社儀式殿

新嘗祭や結婚式殺到を控へ 氏子たちも大喜び

九月初めから柴田組の手によつて工事を急いでゐた新京神社儀式殿の増築工事は十一月七日頃竣工の筈の處種々の事情で工事が遅れたが來る廿三日には新嘗祭の大祭もあるのでこの日には神社內一切を整備しやうとして目下最後の仕上げを急いでゐる、今度の増築工事にかけた費用が約一萬四千圓で増築されたのは舊事務所の西側に式場、控室、事務室、神饌調理所、東側に職員舍宅二家族分でこれの増築と共に參道の兩側にあつた白楊の並木は全部切り拂つて境內の面目を一新した、十二月一月に入つて結婚式の申込みも多數殺到するが、皆新築の儀式殿に於て行はれる これから結氷期の間は工事が出來ないので來年二月十七日の祈年祭までは改築を行はず春の解氷を待つて更に工事を起し參道兩側の松並木の外側に常夜燈の燈籠を並べ又拜殿の後方には神氣深き植込みを作つてその外廓に高屏をめぐらし五月十五日の春季大祭迄にはこれを竣工、發展途上にある國都の氏神樣として益々相應しい神社となる筈である

室町校の 讀方研究教授

室町小學校では十九日一、二年生、二十日三、五年生、二十一日六年及び高等一年の各クラスでいづれも讀方の研究教授を行ひ各日毎に午後三時から批評會を催す

臺北、福州間 日支親善飛行 今朝出發

【東京國通】臺北から福州へ日支親善飛行の壯途に上る日本空輸會社のフォッカー旅客機雁號は支那各方面へのメッセーヂ並に郵便物を搭載加賀森田兩飛行士、森田通信士、鈴木機關士等搭乘十八日午前七時太刀洗出發臺灣航路の定期便を兼ね臺北に向つた、尚同機は十九日臺北發福州への晴れの壯途に上る筈である

ナチスの國から 軍艦來訪

【横濱國通】珍しく明年二月ナチスの國から軍艦が横濱へ入港する、それは獨逸の新鋭巡洋艦カールス・ルーエ號六千噸で練習航海の途次上海から鹿島を經て二月三日横濱へ入港、六日間碇泊する豫定だが獨逸軍艦の來訪はエムデン第二世以來四年振りのことである

生長の家講話 及び座談會

光明思想普及會新京支部では來る二十二日午後六時から祝町太子堂において生長の家講話及び座談會を開催する話題は

家庭生活の體驗
心のまゝになる世界 竹內氏
完き教育 三井田氏
その他座談 向井氏

多數有志の出席を歡迎する

獻詠歌當選者に メダル贈呈

さる十一月三日明治節に新京神社で募集した獻詠歌の當選者中朗詠した五名に敎化聯盟から菊花に菊の葉を添へたメダルを賞として授與された

都會に於ける 冬の保健に就いて(下)

大滿洲帝國體育聯盟理事 久保田完三

△身體の矯正に役立つ體操の普及

冬の生活が如何に私達を姿勢的不良に導いてゐるかは今更申すまでもございませんが、體操が最もよく身體の矯正に役立つことを充分理解されて之を實施される樣御奬め致します

朝の體操がラヂオで普及されんとしてゐることは大變喜ばしいことですが、實際は之が家庭に取り入れられるまでの氣運には遺憾乍ら立到つてをりません。

之は體操なるものが學校內に限られ、一歩學校を出ては殆んど顧みられない傳統的通弊に依つて、未だ大衆にまで體操が眞に理解されてゐない爲でもあるのですが事實從來の體操には競技運動の持つ樣な興味も無かつたし、又學校を出てから實行出來る樣な社會的雰圍氣も出來てゐませんでした。

近時やうやく工場體操だとかラヂオ體操とか建國體操とか或ひは銀行會社に一定時の體操時間が設けられる等漸次一般に體操の價値が認められて來たのですが、之を眞に大衆化し生活の上に缺くべからざる運動として普及せしめるには多數體育館の建造が一番早道だと信じます。

眞冬窓を開いて冷い空氣を入れ、輕い服裝で家內中が體操を實施する樣に迄になりたいものですが、それと同時に體育館が中心となつて誰でも手輕に行つて自由に體操なり運動なりを實施し、之れに伴つて愉快な體操(女子には舞踊を加味して)更に進んで近代的體操が普及され、全民衆が之に親しむ樣になつたなら體育館こそは私達の生活の最もよき友となり得るでせう。

各種のデモンストレーションや講習會、講演會、或ひは體育映畫會等に利用されるならば體育館は又實に健全なる娛樂場ともなるのです。

體育館等と言ひますと、往々遊び半分な納來乞食の樣に言はれる人がありますが、撞球場やら映畫館或ひは豪壯なる舞踏場が多く出來るよりはどんなにか健康的であり、有意義であるか知れません。

本氣になつて長い冬の保健問題を考へるならば、こうした事は大衆の輿論として必然的に起らねばならないと思ひます。

冬の體育館が眞に市民和樂の社交となり、保健の殿堂となる時の一日も早からんことを切望し、皆樣の心からなる御贊同を得たいと考へます。

以上スケートと體操の民衆化之に伴ふ體育館の建造をもつて都會に於ける冬の保健問題を論じましたが、之を要するに、冬季に於いて最も重要視すべき戶外運動の奬勵と身體矯正の二點に對する最も適切だと思はれる方法を擧げたに過ぎません。お互ひが自分の問題として、ここに述べました樣なことを深重に考へてゐたならば、自ずとこうした結論に達するのではないかと思ひます。

冬を迎へるに當りまして玆に聊か愚見を述べ皆樣の御參考に供すると共に、御健康をお祈りして筆を擱くことに致します。

歳暮を賑はす 聯合大賣出し

―細目いよ〳〵決定す―

百二十六の加盟店を有する新京輸入組合では恒例により十二月一日より伸び行く國都を祝福する意味で各新聞社後援の下に『國都發展祝賀聯合大賣出』を催すが期間は三十日迄で、先づ吳服洋服は一日より、和洋雜貨其他一般は十日より、食料雜貨は十六日より始め各加盟店では景品券を出すことになつてゐる之は買上高五圓につき五枚連續式一枚一圓につき分割券一枚でその發行數は八萬組、分割券は五分の一當籤權を有する一月十日午前十時輸入組合事務所に於て警察及新聞記者立會の下に抽籤が行はれ十六日に當籤番號が發表されるが『合理的』をモットーとする組合の事とて一等との間隔を基準とした合理的抽籤方法である尚景品は左の如き額の組合商品券である

△一等一千圓一本△二等五百圓二本△三等二百圓五本△四等百圓一〇本△五等五十圓二〇本△六等二十圓一〇〇本△七等十圓二〇三本△八等五圓四九〇本△九等二圓九七五本△十等一圓三八〇九本△十一等五十錢七九九九本

あす(二十日)

△電々會社移轉披露 午後六時記念公會堂
△三樂園(元竹迺家改め)新築披露 午後正五時

今晩の主なる放送番組

▲七・〇〇和洋合奏(東京)江東管絃樂團▲七・二〇浪花節 平民宰相原敬(東京)木村重行▲七・五〇ラヂオドラマ「洮南發夜行列車」(東京)竹下千惠子外

けふの銀相場

國幣對金票 [illegible]
鈔票對金票 [illegible]
國幣對鈔票 ―
現大洋對鈔票 ―

天氣と氣溫

明日の天氣 北の風晴
日の出 午前六時三十八分
日の入 午後四時十分
月の出 午後 時 分
月の入 午後〇時三十九分
けふの氣溫 最高零下二度八 最低零下十二度九

各學校も參加し 激勵慰安餘興

入營兵送別大會次第決る

近く入營する在京壯丁の入營兵送別大會は既報の通り二十四日午後正一時三十分から記念公會堂大講堂で開催されるが大會次第は次の如く、激勵慰安余興には西廣場、室町、白菊、八島各學校生徒、青年學校生徒、少年團員有志ら擧つて參加し、行を盛んにすることになつた、なほ入場料は會員券二十錢で各區長および町內會役員、地方事務所社會係で發賣するが定員千七百名の見込で男女老幼を問はず擧つて參會あられたいと

一、全員着席
二、入營兵入場
三、開會の辭 滿鐵社會主事
四、國歌齊唱(同時に國旗掲揚) 全員
五、挨拶と歡送の辭 武田敎化聯盟委員長
六、祝辭並に激勵の辭
1、五十嵐鄕軍聯合分會長
2、淸水居留民會長
3、四戶聯合町內會長
4、關東軍司令部兵事部長 山本大佐
5、川村國防婦人會支部長
七、答辭 入營兵代表
(休憩十分)
八、激勵慰安餘興
舞踊 西廣場小學校生徒(四年女)
軍歌合唱 室町小學校生徒
齊唱(イ・出征兵士ロ・進軍)
舞踊(白菊小學校生徒 六年男二年女)
舞踊(日の丸萬歲) 八島小學校生徒(四年女)
琵琶(川中島)錦心流 瓜生玳水氏
靑年學校々歌 靑年學校生徒
健兒ノ歌合唱 新京少年團員有志
詩吟 鵜殿長壽惠氏
劍舞 右同
合唱 滿鐵社員會婦人部有志
現代劇 双曆一幕 カフエー組合(吉川氏斡旋)

なほ入營兵奉告祭は同日午前十一時から神社で執行されるはず

靖國神社に 日本一の大燈籠

【東京國通】日本一の大鳥居を持つ靖國神社に今度は日本一の大石燈籠が出來る、場所は第二鳥居の前で本年初から工事を始め殆んど完成を見、近く落成式を擧げるが富國徵兵保險會社の寄附になり高さ四丈二尺工費十七萬圓と言ふ素晴しいものである

二圓の爲替券で 二千圓詐取さる

滿洲中央銀行窓口の痛事 犯人は事務精通者?

特產物の出廻期に入り銀行事務の輻輳に乘じ二圓の爲替でまんまと二千圓を詐欺された事件――本月七日滿洲中央銀行の窓口に年齡二十五六歲の滿人が訪れ同銀行海林支行振出しの二千圓の爲替を差出し現金國幣二千圓の支拂をうけ立ち去つたあとで該爲替を調べて見ると額面二圓を巧みに二千圓に變造してゐることを發見同銀行では極秘裡に係員が該爲替證書を携へて海林支行に到り種々調査すると共に受取人の署名せる一面坡滿朱害なるものを調査してゐるが確證を得ぬものの如く十九日領警署に屆け出たが犯人は銀行事務に精通せるものゝ仕業と見られてゐる

首都警察管下異動

長通路警察署長の辭職により管內名署長の異動が十八日付で發表された

南關警察署長金容翔補警正命長通路警察署長
四道街警察署長康萬歲命南關警察署長
大屯警察署長金惠海命四道街警察署長
司法科搜查股長金鳳署命大屯警察署長

廣石署長懇親宴

新京署長廣石郁麿氏は十八日午後六時より警察出入記者を開花に招いて懇親宴を催した

佐々木理事東上

十九日來京した滿鐵理事佐々木議一郎氏は二十一日午前七時發ひかりで安東經由、東上の豫定

入營を前に 豫習教育を

本年度に入營する壯丁の軍事豫習教育は既報の如く十八日夜六時から在鄕軍人新京聯合分會の指導で商業學校で開始した

テイパーテイに於る 南大使、全權の挨拶

昨夜九時軍縮全權一行は直ちに南大使官邸に於けるお茶の會に出席したが、會には大使館より守屋參事官以下各書記官、海軍側津田司令官以下各將校、關東軍側西尾參謀長以下幕僚、關東局大野總長、滿洲國側長岡廳長、大橋外交部次長等出席、盛會を極めた、席上南大使は左の如き意味深き挨拶を爲し之に對し永野全權また左の如き感謝的な挨拶を爲した

南大使挨拶

今夕は 御疲勞の折から且は新京御滯在時間の短きにも拘はらず態々御臨席を得たことを感謝す、今回の會議の開催については去る八月英國政府が會議招請の意向を通知して來て以來去る十月二十四日正式に帝國政府が招請を受諾する迄の間に於て關係國との間に種々折衝が行はれ意見の交換を遂げられた事であるが今日尚英米等との間に重要なる點に於て合意を得てゐない由であるから形勢誠に樂觀を許さぬものがある、幸にして各國の間に滿足なる協定が成立すれば正に滿點であるが假に**不幸にして會議が決裂に終るとするも世界各國をして日本帝國國防の本議並に東洋に於ける唯一の安定的たる日本の特殊的地位につき認識せしむる樣努力されるならば吾人にとり充分の收穫があつたと言はねばならぬ**、永野全權閣下には壽府軍縮會議以來海軍々縮問題に關する經驗も豐富に有せられ永井全權閣下亦多年國際外交の檜舞臺に活躍せられたるは本使の申すまでもなく國民周知のところである

從つて 日本國民は今日滿腔の信賴を以て兩全權並に御一行の首途を送りつゝあるものにして會議の內容については本使等に於て一言も申上げる必要を認めない次第である唯任を友邦滿洲國に奉ずる本使として國都新京に御一行を迎へたる此の好機會に於て一言滿洲國の現狀につき申上げ御參考に供すると共に歐洲に於て今尙滿洲國に關する認識を缺ぐものに對し本使の申上げんとする趣旨に於て御啓發願へれば欣快とするところである滿洲國の獨立を尊重し其健全なる發達を期するは我帝國對滿政策の根幹である、而して今日の滿洲國の狀況は所謂治安第一主義の時代を脫せず、治安なりて始めて政治行はれ經濟的開發も可能となるのである

而して 治安を保持するには對外、對內の二方面を考慮するを要する、先づ對外關係に就て云へば對ソ、對外蒙、對北支の關係に於て滿洲國は其の何れとも友好的關係を確立維持するを以て目的とするものにして此等接壤地域に對し滿洲國の欲するところは平和以外の何物でもないことを斷言する 先般來頻々として起りつゝあるソ滿國境事件の如き問題に就てもソ國の提案せる國境紛爭處理委員會設置案に對し滿洲國は寧ろ紛爭の禍根たる國境線自體の不明確を除去するの案を主張して居るの事實によりてもソ滿間の問題を平和的に處理せんとする意圖が明かであると信ずる、又外蒙古との間に於ても「ハルハ」廟問題を契機として兩國間に代表機關を交換し友好親善關係を樹立せんとして目下交涉中であるが

更に又 最近の北支問題に就て言ふも北支の安定が滿洲國の治安に直接影響するところ大なるものがある故に此の方面の安定を希望して已まぬ次第である、以上の如く滿洲國が隣邦諸國に對して執らんとする政策は平和工作の外何物でもない、唯一つ申すまでもないことであるが滿洲國は接壤國に對して何等侵略的の意圖がないと同時に此等の諸國からの滿洲國の治安を脅威するものがある場合にはかかる脅威に對し斷乎排擊の手段をとることが必要であつて此がためには不斷の訓練と覺悟がある

つぎに 對內政策について云へば今日全滿に亘り徹底的に治安肅淸工作を實現し居り各地に蟠居せる匪賊を掃蕩すると共に思想上の不穩分子に對しても嚴密なる搜查檢擧を實施して居る、彼等の內には或はソ國第三インターナショナルに通ずるものあり或は上海を中心とする共產組織と通ずるものあり其根强きことについては相當注意を要するものがある幸にして我日本帝國援助の下に新興滿洲國は着々として

建國の 礎を固め國運次第に隆昌に向はんとしつゝある次第にして此の點に於て我對滿國策は彼の歐洲各國民が植民地開拓の名の下に異人種を征服壓迫し自己の文明に陶醉せるのと全然其精神を異にするものである今日尙不幸にして歐米各國民の間には我對滿國策につき認識不足のもの尠からざる由であるから何卒以上の意味に於て彼等をして充分に我國策の眞義を理解せしめて貰ひたい 御一行は十二月一日倫敦御到着同四日より會議に御出席と承知する今後尙遠路であり且つ嚴寒の折柄切に兩全權並に隨員各位の一路御平安と御健康を祈る

永野全權挨拶

新京通過に際し此の盛宴を設けらるゝと共に御懇篤なる御挨拶に接し一同を代表して厚く御禮を申上ぐ

故國を 去るに望み任重く道遠しの感切なるものあるが唯今大使閣下の激勵の御言葉に接し誠に心强く感ずる、倫敦に於る會議の空模樣が晴であるか雨であるかは今日豫測を許さぬが從來我國の主張と英米の主張の間には重要なる點に於て相容れぬものがあるから日本としては確き覺悟を必要とする、本全權等も所謂樽俎折衝の間に圓滿なる協定に達することを切望するが四圍の狀勢は仲々之を許さぬものがあり、自分一個としては眞の軍縮協定は或は一旦物別れとなつた後でなければ達し得ぬのではないかとすら考へることがある、倫敦に於ける

會議の 形勢如何に拘はらず我方針は確固たるものがある我既定方針を變更せしめんが爲に各國の內には或は滿洲問題委任統治群島等に關聯して我を誘ふに利を以てするものがあり得るし或は又建艦競爭、英米提携等我を脅すに害を以てすることも考へ得るのであるが日本の要求は不脅威、不侵略の公正たる基礎に立脚するものにして斯る誘引により變更さるべきものではない、何卒今後引續き我々全權團に對して充分の御援助を賜らんことを切望す

誰が殺したか（禁上映上演）

國枝史郎氏
龍造寺贈

第三の殺人

六

話變つて――

星野留末亡人の慘劇事件が突發した日の午後のこと、東京郊外澁谷の、震災後とみに發展を遂げた面妖坂の邊はひから、少し離れた丘に立つ山の手アパートの玄關でかう訊ふ聲があつた。

『御免下さい。こちらに獅子内といふ人が居りますか？』

帳場に坐つてゐた山の手アパートの女將が、太つた身體をやをら持上て出て見ると、顎をもぢやもぢや生やした大きな男が、ソフト帽を阿彌陀に被つて立てゐた。

『獅子内さんはこゝに住んでゐますが、今旅行中ですよ』

臆の男を胡散臭さうにじろく眺めながら、女將は木で鼻をくゝつたやうな返事をした。

『いゝえね、私は獅子内さんの荷物を取に來た通運會社のものなんですがね』

『あゝさう。さうならさうと、早く云へばいゝのに。その荷物のことなら、獅子内さんが此間出かけに云殘して行なさつた。大トランク一つ、大分重いらしい鞄子だつたが、車は持つて來なすつたでせうね？』

『處が今日は其下見に來んでしてね。大凡どれ位の大きさでどれ位の重さのものだか、調べた上で車の手配も違ふといふ譯ですよ』

『そりやさうでせうとも。よござんす。そいぢや見て行つて下さい。私についておいでなさいよ』

はげちよろの階段を、えつちらおつちら登りながら、女將は寄る年波の心臓の弱さを臆の男に囁ずるのだつた。彼はにやく笑つて聞流し、女將の後から油斷のない眼で一階二階の間取りを見取つて行く。

四階の一番奥の部屋へ辿りつくと、

『こゝですよ』と云つて、女將は鍵をがちやがちややりながら、目くばらしく扉を開けた。

髯男は女將の肩越しに部屋の中を覗き込んだ。十疊程の廣さで、窓の前に机が据えられ、あとは三脚程の椅子と、一つだけ素晴らしく大きな長椅子があつた。

『奧が寢室です。このアパートぢや、一番いゝ部屋なんですよ』

女將は髯男を間借に來た人間と間違へたかのやうな挨拶をした。

髯男は鼻をくんく云はせて、

『獸に臭いぢやありませんか、ナフタリンの匂ひかな。お神さんいつもこんなですかね？』

『さあそこ迄は氣がつかないが何しろ獅子内さんは鼻の強い人と見えて、旅行から歸つて來て、部屋が埃臭かつたり黴臭かつたりするのが大嫌ひなんでせう』

『へえ、すると隨分度々旅行してゐる人と見える』

『そりやもう、アパートにゐる時間の方が少いくらゐですもの。でも拂ひはちやんくして下さるし、私の方ぢやかういふ人の方がいゝですよ』

『なるほどね。おや、この美人は獅子内さんの愛君かな？』

何時の間にやら、のそく部屋の中へ這いりこんで、勝手に机の上の紙片や書物を手に取つて眺めてゐた髯男は、書棚に立てかけてある額入の寫眞を取上て、頓狂な聲をあげた。

『冗談おつしやい。獅子内さんは獨身者ですよ。そりや多分あの人ほ、ほ、ほ』

『といふとこゝへ情人でもやつて來ることでもあるんですね？』

『さあそれがね、情人なのか何なのか、急滲見當がつき兼るのですよ。いつも、ナッと來て何時の間にか歸つてしまふんですもの』

（この篇水谷準作）

映画と演藝

マヌエラ舞踊會 今夕七時より

國都の視聴を集む

西班牙が生んだ世界的名舞踊家マヌエラ・デル・リオ孃の舞踊公演會は内地より一足お先に愈よ今夕午後七時より新京婦人團體聯盟主催、新京地方事務所、新京特別市公署後援の下に記念公會堂において華々しく開演されることとなつたが、輝く斯界の明星を迎へて在京舞踊ファンの熱狂ぶりが豫想される

マヌエラ孃語る

情熱の舞姫マヌエラ・デル・リオ孃はローカ、アルフォンゾ兩氏と共に十七日夜哈爾濱より來京、ヤマトホテルに投宿したが、刺を通ずればスッキリした肌膚を、一分の隙もない巴里好みの衣裝に包んでサロンに現はれ、聞きしに優る貌に人なつこい笑みをたゝへ乍ら流麗なフランス語で左の如く語つた

憧れの日本へまいります途中、此滿洲國の首都新京でデビューすることが出來ますのを心から喜んでゐます

哈爾濱ではモデルンで二晩演りましたが、お蔭で滿員でしたけれど外人の方が大部分でした、新京が日本人の方に見て頂く最初ですから一生懸命踊りたいと思つてゐます、妾達が滿洲建國以來最初の外國舞踊家ですつて？ホントに光榮です、こんな立派な大きな市街が僅か三年位で建設されたなんて全く驚異です、妾達歸りましたらウント滿洲國を宣傳します、旅程ですか、十九日の公演を濟まし二十日午後八時發で、大連へ行き、二十一日出演の上二十二日日本へ向け立ちます

“追撃ミックス”

新京キネマ十九日より

新京キネマ十九日よりの番組は左の如く大河內、山中の「國定忠治」の再上映を中心にトム・ミックスの西部ものを加へた和洋混合プロ、尚二十二日よりは「綠の地平線」が上映される豫定である。

△日活「國定忠治」山中貞雄の監督作品、トーキー作者として、又演出家として山中貞雄がその才腕の全貌を發揮した逸品、山形屋を叩き斬つた忠治が玄之一家を救ふまでの一夜の事件が巧妙に描かれてゐる傳次郎を助けて横山運平、淸川莊司、高津愛子等が出演する

△日活「召集令」渡邊邦男の監督する作品で、東家樂燕吹き込みの浪曲トーキー、題名の示すが如く日本精神を謳歌した軍時映畫で、中田弘二、中野かほる、黑田記代等が主演する

△ユニバーサル「追撃ミックス」アーサー・ロッスンの監督する西部劇でお馴染トム・ミックスと名馬トニーが出演、悪人輩相手に痛快な活躍をする一篇、娯樂映畫の王座である

待望！「西班牙狂想曲」

―突如廿日より長春座上映―

ヨセフ・フォン・スタンバークが「戀のページェント」に次いでものした大作であり、パラマウントにおける彼の最後の作品である、「モロッコ」以來のデイトリッヒとの名コンビがこれでなくなる譯で、そんな意味でも見逃し難いものがあらう、多情なスペインの一踊子が本心に立返へる迄の人性愛慾を描いたもので、原作はピエール・ルイスの「女と人形」により、脚色にはS・K・ウインストンがあたり、撮影には監督者スタムバーク自身が擔つてゐる、それだけでなく選曲、美術等にも自身が手を下してゐるなど、スタンバークがこの最後の一本に如何に心血を注いだかゞ窺はれる、助演者はライオネル・アトウイル、アリス・スキヴワース等、蓋し本年掉尾を飾る豪華版と言へやう、尚、この映畫は最初の豫定では十二月上旬封切の筈であつたが、この映畫がスペイン軍隊並に官憲を侮辱するとの理由から、スペイン政府當局の抗議により十一月末日を限りとして極東における公開を一齊に禁止したので、これがために豫定を早めて二十日より公開の運びとなつたものである（スチールはデイトリッヒ）

撮影所だより

▲五所、伏見のコンビ「人生のお荷物」「吹けよ戀風」に次いで製作せる「人生のお荷物」は五所、伏見の名コンビが腕にかけて作る逸品で物語りは、齋藤達雄の明朗なお父さん、吉川滿子のヒステリーのお母さん、水島光代の娘さんに小林十九二、田中絹代、坪内美子、大山健二、佐分利信のお婿さんと云ふ樣に娘御は皆片附きますのでお父さん、お母さんの人生のお荷物はおろされますが、まだ一つお荷物は息子寛一君はお嫁さん貰ふのにはまだ數年かゝります、その事でお二人の仲が大變もめいろんな事件が持ち上がると云ふ明朗映畫、五所平之助監督が得意の腕を振ひユーモラスなうちに見榮を張りたい現代の相を鋭く描破せんとするものである。

▲「武器なき人々」の變つたロケハン　新興東京本年掉尾の大作、中野實原作、陶山密脚色の全發聲「武器なき人々」は現代世相の特異なる一反面、疑獄事件を背景に新興東京の名優、伏見直江、霧立のぼる、立松晃に現代劇初出演の月形龍之介が加はつた豪華キャストが描き出す近來出色の傑作悲劇として非常に期待されてゐるが、十日午後、青山三郎監督、三木茂カメラマン以下製作スタッフ一行は本篇の主要バックをなす實景を採輯のため、小菅刑務所を訪れ暗重なる刑務所の雰圍氣等を夫々効果的にクランクして歸所した。

雑音

「ロバータ」に先立つて「西班牙狂想曲」が二十日から封切られる、スペイン政府の抗議にあつて十一月末日限り公開不能になつたこの映畫は大體からゆくと新京でも見られない事になつてゐたが、長春座の英斷のお蔭でどうやら愉しむことが出來る▲たつたこの間「モロッコ」が來たそして今「西班牙狂想曲」である、スタンバークとデイトリッヒが初めて顏を合せた作品と、このコンビが最後に殘すそれと、殆んど時を經ずしてやつて來た譯で、奇妙な對蹠とめぐり合せに興味深いものがある▲新京キネマでは、「會議は踊る」「F・P一號應答なし」「未完成交響樂」等の再上映を豫定してゐるがこれは此處の得意とする手である、洋畫ファンには魅力ある企てである、派手にやりたくてもやれないこの館の陣痛か、暫々色んな型となつて現はれる

今日の演藝街

△長春座―十九日限り、栗島すみ子、田中絹代、川崎弘子の「永久の愛」前後、小倉繁、阿部正三郎の「爆彈花嫁」フレッド・トマクマレーの「無電非常線」

△新京キネマ―十九日より三日間、大河内傳次郎の「國定忠治」トム・ミックスの「追撃ミックス」中田弘二中野かほるの「召集令」

△公會堂―マヌエラ・デル・リオの舞踊公演會

出生

▲叢淸一氏（朝日通り三十五番地ノ二）次女滿智子さん一日出生

▲松林浩氏（羽衣町三丁目十二番地）次女享子さん八日出生

▲鈴木稔氏（桔梗町一丁目四番地）三男德次さん十一日出生

居住消息

▲相原道敬氏（愛媛縣）ハルビンから敷島寮五十號へ

▲大屋鷹一氏（東京府）東一條通り二十一番地明治製菓賣店へ

▲吉澤正行氏（神奈川縣）同

▲江波源之助氏（山形縣）常盤町一丁目六番地淸水方へ

轉居

▲津山年太郎氏花園町から老松町二番地へ

▲淵脇巖氏錦町から青島市へ

▲西山健二氏室町から敷島寮九十四號へ

十一月二十日　水曜　庚子　佛滅　除　箕宿

一白の人　勞苦を厭はず實行を先にすれば喜を見る日　甲と乙と丁が吉

●二黑の人　新計畫は過ちを招くも舊業は漸次に繁榮す　庚と辛と癸が吉

●三碧の人　善き思案も出でず處置に苦しみ難む凶惡日　卯と乙と丁が吉

●四綠の人　不振の業績を揚げんと策動して却て害あり　甲と乙と丁が吉

●五黃の人　足並を揃へて前進すれば志望も成り繁榮す　壬と子と癸が吉

●六白の人　進退の自由を失ひ危險は益身に迫り來る日　辰と丙と丁が吉

●七赤の人　無理さへ行なはざれば良運を持續し得る日　辰と壬と癸が吉

●八白の人　光明は前途に輝やく起業開店緣組など大吉　未と壬と子が吉

●九紫の人　常業を怠たらず努力奮鬪すれば功果を結ぶ　乙と未と丑が吉

防空獻金現況報告（一）

滿鐵新京地方事務所取扱自十月三十日至十一月四日

貳拾圓、宮内陽肇、四圓五拾錢、事情案内所、貳圓拾四錢女學生二名、貳百圓、瀨下金拾五圓、勘崎仙英、參百圓、大二商會出張所、參百圓、秋田商會、拾圓、朝日奈金造、拾圓、井上源太、五圓、北村積義、五圓、岡村米吉、一千八百四十七圓、（高射機關銃一銃）小松兼松、岩間甲斐之助、須鎗卯吉、二圓、梶井キヨ、二圓、池尻麗珠、五圓井口敏男、三圓、田中太平、二圓、佐甲眞次、二圓、吉川豐次、五圓、白濱淸八、十圓謝秋官、五圓、柴田新之助、九圓、服部貞丈、二圓、嚴享仁、二十圓、松名周治、二百圓、千葉修一、二圓、近藤熊太、三十五圓、新宅啓三、九圓六十錢、野中イシ、五圓、丸茂達也、三十圓、上原明倫三圓、宍見善治、十五圓、山本隆司、五十圓、飯田伊之助五十圓、井上ミネ、二圓、酒井益雄、五十圓、鈴木太三郎一百圓、永井眞七、二十圓、野崎靖久、十圓、竹島磯次・五圓、岡本茂義、十圓、矢波義之、四圓、西丸元實、四拾四圓、追風喜平、貳拾八圓六拾錢、相原鑿一、貳拾五圓、渡邊才吉五圓、本田勝次、拾圓參錢、喜來シマ、拾五圓、龜井一、貳圓、島田尚文、五圓桑山乙松、壹百圓、山口正太五百圓、新京市場會社、壹百圓、新京市場賣店組合、五拾圓、上原金次郎、參拾圓、後藤嘉壽美、五圓、若松英三、五圓、中宮直次郎、二十圓、南海幾松、十二圓、潮谷ツネ三圓、吉田德三郎、七圓、上田キマ、十圓、長谷川信雄、二圓五十錢、大谷鶴雄、五圓松田永太郎、十五圓、松永光太郎、十圓、市川憲治、三圓五十錢、柴田淸一郎、二十圓麻生磯平、五圓、窪田滿穗、五圓、藤間勘多郎、三圓、加賀谷キヌ、十圓、本田正一、五圓、杉山瀧次郎、十圓、佐藤宇治太郎、三圓三十錢、濱崎德二四圓、阿部武男、大下源策、三圓、貝島淸、三圓、藤田惣右衛門、七圓、成田榮、二圓五十錢、吉田アキ、三十圓、加藤義雄、十圓、山本豐次、三圓、白仁田市太郎、六圓、木原泰次郎、十五圓、原種一郎、二圓五十錢、西川甚吉、五圓、池田芳熊、五圓、龜山一郎、二圓五十錢、今井忠四郎、二圓、西田懿治、三十五圓、崎田知新、十七圓十錢、四倉宗次郎、三圓、井上淸弘貳圓五拾錢、中谷順三、拾圓田中幸平、貳圓五拾錢、吉岡易造、六圓、岡本捨吉、貳圓五拾錢、深道直次郎、貳拾圓鶴殿長壽惠、五圓貳拾錢、岡本ツギ、貳圓五拾錢、武井四郎、五圓、厚木德三郎、二圓五十錢、後藤正直、十圓、古川七郎、三圓、大野重淸、二圓五十錢、嵩下才市、三圓、小川三次、二圓、梶山、十二圓、鎌田源吉、五圓、平田龜次郎、三圓、大谷義雄、貳圓五拾錢、益田五宗、壹圓、ヱナミ果實店、貳圓五拾錢、泉ミサヨ、貳圓五拾錢、中村正明五圓、工藤榮一郎、五圓、德永靜江、拾五圓、宮本竹雄、貳圓五拾錢、竹下銀次郎、參圓五拾錢、黑田留吉、參圓、高野圓藏、五圓、森岡一、十圓、松林淸三郎、十圓、淸水春夫、五圓、加藤政男、五圓城定ウメ、十圓、矢川甚藏、五圓、岩堀外吉、三圓、田中三郎、五圓、增田孝吉計一千二百九十四圓六十錢也、累計一萬一千六百十六圓七十錢也

五百圓福田右一、五百圓飯野德之助、一百圓西堀藏吉、一百圓村木由松、九十圓直川孝二郎、三十圓新京支店、三圓三十錢安住惠壽、二圓五十錢寺川貫一、二圓五十錢千田春次、五圓石黑兵之助、三十五圓鎮田金城、十圓石井乙己、七圓五十錢李子封、二十圓寺中楠治、二十圓湯淺長四郎、五十圓大同興業株式會社新京出張所、三十圓廣瀨宗壽、二十圓小林龍勇、二十圓上山源六、七圓增田重一、五圓伴サワ二圓五十錢今井宮五郎、二十圓岩崎新市、十二圓桑原明、十二圓結家幾治郎、五十圓久保田ケサヱ、百五十圓滿洲バルブ工業出張所、二十圓木下莊

日満合辦の特殊會社 満洲拓殖設立へ

―移民問題への一光明―

關東軍當局では懸案の満洲拓殖會社設立に關し引續き中央部と折衝中の所此程大藏、陸軍、拓務各省との諒解成り將來内閣に於いて満洲移民の國策が確立されそれに準據して大規模な移民會社設立を見る迄の暫行的機關として左の内容になる拓殖會社設立を決定した

一、資本金は一千五百萬圓とし満洲國政府、満鐵、内地民間より各五百萬圓を出資す

一、満洲國法人たる日満合辦の特殊會社とし新京に本社を置く

一、會社は移民團に關する金融移民地の買收、分割、生産物の販賣斡旋等を掌り又從來の拓務省移民團に關する叙上の任務はこれを引繼ぐものとす

一、移民地は曩に商租濟の依蘭地方百町歩を以つてし半農半牧の農村建設を目標に一戸當り二十町歩を割當て十町歩を牧場、八町歩を畑二町歩を水田とす

一、營業に關する指導は擧げて移民團指導員に一任す

一、移民募集を差當り日本政府機關をして行はしめる

といふにある、しかして各省間に可及的速かなる設立が待望されてゐるので移民問題の前途漸く光明を認るに至つた

設立準備 ―委員會設置―

關東軍當局では満洲拓殖會社基本方針決定と共に稻垣顧問を急遽上京せしめ人事其他具體的問題に關し中央部と折衝せしめる一方現地においては關東軍、満洲國、満鐵拓務省出張所等關係各機關を網羅する設立準備委員會を設立し中央、現地呼應して遲くも十一月中旬には諸般の準備を終了せしめ次いで満洲國政府をして我が東拓法にも比すべき満洲國拓殖會社法を立案公布せしめ同法に準據して會社定款を作成し明年一月一日新京において創立總會を開催することに決定した

内外硫安協定

一兩日中正式調印をみん

【東京國通】我最後案に對し歐洲窒素カルテルより受諾回答あつたので内外硫安協定は出來上つたが目下兩者間に成文を調製中で一兩日中に正式調印の筈である、協定による上期最低輸入量は十二萬五千噸下期輸出は六萬噸存續期間昭和十一年一月以降一ヶ年である

満和通常爲替交換 廿五日から開始

満洲國は來る廿五日から日本の斡旋により和蘭と左の條件を以て通常爲替の交換を開始する事となつたが満洲國の國際關係よりみて頗る注目されてゐる

一、本邦(満洲國)より振出の場合は日本國に於て爲替金額(日本國通貨)を和蘭國通貨「フロリン」及び「セント」に換算し媒介手數料を控除したる上新に和蘭國宛通常爲替の振出を爲す

二、和蘭國より振出されたる爲替(和蘭國振出日本國宛爲替の表示貨幣は日本國通貨)は日本國に於て爲替金額より媒介手數料を控除したる上新に本部宛通常爲替の振出を爲す

三、媒介手數料は第一項の場合に於ては爲替一口に付和蘭國通貨セント及爲替金額の四百分の一に相當する額、第二項の場合に於ては爲替額の千分の一に相當する額とす

満洲工廠 愈よ操業開始

満洲工廠株式會社は昨年十二月資本金三百萬圓全額拂込に增資して以來鋭意工場内設備の充實に努力してゐたがこの程完備を見全運轉を開始した

同社は總坪數四萬五千坪總建坪約七千一百坪満洲民營の重工業會社として最大なるので現有工場は左の如くである

(一)機械工場二棟、各種優良機械作成の設備完備す(二)鑄鋼工場、一棟年額二千四百噸の製造能力あり(三)鑄物工場一棟年額一萬二千噸の能力あり(四)鐵管仕上工場一棟(五)木型工場一棟(六)研究室一棟(七)車輛工場三棟六線の車輛組立用線路を有し年額一千臺の車輛製作能力を有す(八)橋梁工場一棟年額一萬噸の鐵骨數製作能力を有す(九)況圖工場一棟(十)燒鐵工場一棟百噸の水壓機其他の設備完備す(十一)鍛工場一棟一噸の蒸氣槌を有す(十二)鐵礦窯碎工場一棟(十三)水壓並に壓搾空氣工場(十四)酸素工場(十五)木材乾燥室一棟(十六)汽罐室一棟(十七)電氣工場並に原動場二棟

尚ほ主要職員は社長山本盛正氏、專務取締役根本富士雄氏取締役伊瀨和禎介氏、小林長輔氏、營業部長水内忠氏何れも斯界に多年の經驗者揃ひで満洲國方面の建設と日満兩國の重工業時代の波に乘つて同社の前途は囑望されてゐる

朝鮮小野田 満洲進出計畫

朝鮮小野田の本年度洋灰生産高は四十萬噸にして鮮内消費は三十萬噸その他の十萬噸は内地市場へ移出したが來年度よりは各工場共全能力を擧げて操業する外九月後は新工場も操業を開始するため更に満洲向け輸出を計畫中である

赤峰に新設される 金の精錬所

―豫算額四萬千八百圓で―

満洲國中央銀行は去る八月十四日附財政部指令をもつて赤峰山金買收所設立が認可され同行では治安、水利、動力等の關係を考慮秘密裏に準備中であつたが十月二十五日赤峯に一大金鑛精錬所を設立する案を決定した場所は赤峯の東北郊外約三キロ紅山(赤峯山)麓の傾斜岩 地域五萬坪で大同組の手により四萬千八百圓の豫算で建築中で本年中には竣成の見込である、機械類の一部分は到着しており大體十一月中に全部の輸送を終り來年一月十日試運轉を擧行する事となつてゐる、電力は赤峰電燈廠から三百キロワットの送電を受けるものでこの爲同廠はスイス製約十五萬圓の發電機を增設する筈である同製錬所は赤峰附近各地の金鑛を精錬し併せて未採掘の各鑛山の調査を行ふもので精錬は差當り奉天廣昌公司の運搬する紅花溝の金鑛を使用する 紅花溝は赤峰の西南十邦里桃業圖附近で翁手特右旗の所有に屬するもので埋藏量はなほ不明ながら十萬分の二の含有量ありといはれてゐる、因に同精錬所長は前朝鮮總督府殖産局燃料選鑛研究所技師葛原大策氏が任命されるはずである

哈爾濱洋灰 愈よ全部操業

昨年十一月起工以來建築を急いでゐた哈爾濱洋灰株式會社では先般原料工場の火入れを行ひ一部作業を開始してゐたがいよ〳〵九日製造工場にも火入れを行ひ全般的に作業を成すこととなつた同會社は資本金五百萬圓松花江に沿ふた阿城縣張家油房の敷地十萬坪に目下二萬坪の工場を建築年産十二萬噸の能力を有してゐるが交通不便な位置にありながら僅か一ヶ年間に工事を完了したことは驚嘆されてゐる 同工場の原料は濱綏線小嶺二層 千白帽子より石灰石八實山咀子より粘土を供給されてゐるが哈爾濱よりの引込線完成後は相當豐富に原料を運搬することも出來江岸一帶はもとより北満に於ける市場は完全に同工場の製品になつて壓倒されるものと見られてゐる 尚ほ同工場の敷地たる阿什河岸より三課樹に到る間は哈爾濱大都市計畫になる重工業地帶で更に江岸にある點等より運搬連絡ともに共要路にあたり將來の發展性は充分に約束されてゐる

満洲鑛山薬會社

奉天造兵所へ身賣り 一切を四十一萬八千圓で

満洲國の火藥取締法の施行によつて全満唯一の安東縣所在の満洲鑛山薬會社は建物工場施設借地權等一切を四十一萬八千圓で結局奉天造兵所へ賣渡すこととなつた

満洲鑛山薬は資本金百萬圓全額拂込で社長は吉家敬氏常務は明石東次郎氏大株主としては大連の坂本銃砲店主、阪本治一郎氏の千二百株と言ふのが筆頭である、この買收合併により支配人の管野量三氏は古巣の王子製紙へ歸り新に造兵所から平島古巳氏が安東工場主任として赴任することになつた

満洲經濟夜話 4

北支民衆はあきらめてゐるのか その經濟の解剖

―筆者の意圖の第一―

荒廢山東省の物語も續ければはてしがない。

× ×

前回、災害出現後、他省への移住者が増加した旨までを書いたが、それは又、その土地の生産力の異常な減退を意味するものでもあつた。

このやうな、北支那の經濟的窮乏――それが多くの人群を満洲の方へと押し出し、そして、そのために今日の満洲經濟の發展がこれ又相當に推進せしめられた――この歴史の事實は、皮肉なものであると言はねばなるまい。特に、極く最近の北支那の動きつゝある情勢は、支那三億數十萬の國民にもひし〳〵と胸にこたへる程の感慨は持たれることかと想像される。…尤も、支那の民衆が、社會の上層部に起つてそして民衆の生活に大きな影響を與へるものであるところの、政治的、軍事的匪賊的などの、それら諸現象に、割り合ひに無關心である、……むしろあきらめ切つてゐる、といふのならばまた、私は私の前言を若干變更せしめねばならないであらう

× ×

私は、暫らく眼を北支の經濟一般に向けたいと思ふ。十(満洲夜話はいまの満洲で語られる爐邊のとりとめなき雜語であることをここに再び繰り返して置く)

× ×

北支の經濟については、色々な觀點からこれを見得る。又、そこには色々な話題が存する。

筆者は、いま特に北支が人々の話材にのぼつてゐる時ではあるし、一般ジャーナリズムの立場に立つて、先づその全貌を概觀することから始めたい。

私のシエーマは大體次の如くである。

一、北支經濟の重要さ
二、農業一般
三、資源について
四、將來性
五、貿易

(つゞく)

長春

本社特派員發ニュースによつて、北支新政權の樹立運動は、まさしく多年にわたつて、南京政府が強ひて來た北支一帯に亘る植民地的搾取、そしてその結果たる農村の貧窮、この隱し難い事實への反抗が時を得て燎原の火の如くにあの廣漠たる土地に爆發したものであることがあきらかとなつた▲特報はこれが必然的な次の階程たる新しい組織への全民衆による立案の模様をまでしらせて來つてゐる▲南京政府の周章ぶり如何とわれらは甚だ遠方にゐるのだが、一寸氣になる次第である▲「半月は長安の邊まで冴え居りや」

土建ニュース

決定工事

▲新京第五小學校内[illegible] ●新京地方事務所
其他工事
單獨 一千百九十四圓四十三錢 福井高梨組

▲新京錦町用社宅二戸排水裝置修繕工事
單獨 五百五十一圓五十錢 辻商會

▲新京西踏切地下道築造に伴ふ水道管布設替工事
單獨 七百四十三圓 長谷川工務所

▲新京驛構内小荷物取扱所前舗裝新設に伴ふ歩道一部碎石敷築造其他工事
單獨 二百圓九十四錢 福井高梨組

▲新京指定宿泊所復張替工事 ●新京保線區
單獨 百六十八圓二十九錢 大室謙吾

▲大屯孟家屯間六九一K九三〇M踏切道新設に伴ふ隣接新設工事
落札 六百九十圓 尚厚溫組
[illegible] 丸山組
[illegible] 三田組

▲奉天浪速高等女學校窓建具製造工事 ●奉天地方事務所
落札 參千三百八十圓 大同組
[illegible] 今井組
[illegible] 大倉土木組
[illegible] 錢高組

▲奉天獸疫研究所下水腐敗槽新設其他工事
落札 一千四百六拾圓 草場組
[illegible] 池内市川工務所
[illegible] 市瀨工務所

▲奉天朝日女學校庭地均工事
單獨 壹千五百九拾八圓 村松組

▲新京淨月潭水源地用地境土堤築造工事 ●國都建設局
單獨 貳千貳拾七圓六拾貳錢 榊谷組

商況欄

(十一月十九日前場)

海外經濟電報

品目	相場
倫敦銀塊	二九片一六分五
同 先限	二九片一六分一
紐育銀塊	六五仙八分三
孟買銀塊	六六留比六分五
米英爲替	四弗九仙四分三
米日爲替	二八弗六四仙
米支爲替	二九弗七五仙
スチール	四九弗八分三
アナゴンダ	二三弗〇〇
英日爲替	一志二片[illegible]
英支爲替	[illegible]
印日爲替	七七留比四分一

▲米棉

限月	相場
現物	一二仙二〇
十二月限	一一仙七六
一月限	一一仙七九
三月限	一一仙六九
五月限	一一仙五五
七月限	一一仙三〇
十月限	一一仙二二

▲印棉

品目	相場
ブローチ	二二四留比
オームラ	二〇七留比
ベンゴール	一五六留比

▲市俄古小麥

限月	相場
十二月限	九七仙〇〇
一月限	九六仙八分五
三月限	九〇仙八分一

▲カルカツタ麻袋

品目	相場
青筋	二五留比八分五
鐵筋	二二留比八分三

金銀市況

●上海標金 本寄 [illegible] 歩 [illegible]

●大連金鈔票 現物 寄付 [illegible] 引 [illegible] 出來高 [illegible] 十一月廿八日限 寄付 [illegible] 出來 十二月十三日限 [illegible]

▲大連爲替

▲上海向 第一回買 [illegible] 第二回買 [illegible] 第三回買 [illegible]

▲臺灣向 [illegible]

お酒は慶典

▲阪神日米爲替

第一回賣買 二八弗八分五 二分一

▲阪神日英爲替

第一回賣買 一志二片一六分三 〇〇

株式相場

▲大阪株式(短期) 大新 東新 鐘新 日産 [illegible]

▲大連株式(短期) 五品 豆鈔 鐘新 東新 満鐵 二産 日新 [illegible]

▲奉天株式(短期) 滿取 東新 大新 日産 五品 豆新 鐘新 満鐵 二新 電甲 同乙 東拓 [illegible]

爲替相場

▲上海爲替 日本向 第一回賣買 一〇三、七五 第二回賣買 一〇四、二五 第三回賣買 [illegible]
▲倫敦向 第一回賣買 一志二片一六分七 第二回賣買 二分一
▲紐育向 第一回賣買 二九弗一六分九 第二回賣買 一六分二

●大連鈔票銀大洋 現物 [illegible] 出來高 不申
●奉天國幣金票 現物 一〇〇、〇〇 ▲十一月廿八日限 寄 出來不申 引 出來高
●奉天國幣鈔票 現物 [illegible] ▲十一月廿八日限 寄 [illegible] 引 [illegible] 出來高 [illegible]
●哈爾濱國幣金票 現物 一〇〇、〇〇 ▲十二月十三日限 本寄 出來不申 引 十二月廿八日限 [illegible] 出來高
●安東國幣金票 現物 一〇〇、〇〇 十二月十三日限 本寄 出來不申 引 十二月廿八日限 一〇〇、〇〇 出來高

取引所市況

(十一月十九日前場)

●大豆 現物(一石値段) 定期(混合百斤値段) 寄 引 出來高
●高粱 現物 十一月限 十二月限 一月限 二月限 三月限 四月限 [illegible]
●鈔票對金票 二十八日限 十三日限 寄 引 出來高 [illegible]
●國幣對鈔票 二十八日限 十三日限 寄 引 出來高 [illegible]
國幣對金票 鈔票對金票 國幣對鈔票 現大洋對鈔票 [illegible]

●神戸豆粕 十一月限 十二月限 一月限 二月限 三月限 出來高 [illegible]
●同 小麥 十二月限 一月限 二月限 出來高 [illegible]
●哈爾濱大豆 現物 十一月限 十二月限 一月限 二月限 三月限 [illegible]

特産市況

●大連大豆 袋入 十一月限 十二月限 一月限 二月限 三月限 [illegible]
●同 豆粕 現物 十一月限 十二月限 一月限 二月限 三月限 [illegible]
●同 豆油 現物 十一月限 十二月限 一月限 二月限 三月限 [illegible]
●同 高粱 現物 十一月限 十二月限 一月限 二月限 三月限 [illegible]

▲大阪期米 當限 中限 先限 [illegible]
▲大阪人絹 當限 先限 [illegible]
▲大阪棉花 當限 先限 [illegible]

商品市況

▲大阪棉糸 寄付 十一月限 十二月限 一月限 二月限 三月限 四月限 五月限 [illegible]
満興 優先 満毛 日管 [illegible]

大正九年十二月十四日第三種郵便物認可

新京日日新聞

朝刊

【本紙朝夕刊十二頁】

本紙定價 一部五錢 一ケ月壹圓
廣告料金 普通 一行壹圓五拾錢 特別 一行貳圓五拾錢

發行所 新京永樂町四ノ一 新京日日新聞社
電話 編輯部專用三二二五 營業部專用三三〇〇

發行人 十河榮忠
編輯人 松本勇
印刷人 水越內之介

蔣介石の拜み倒しで 有吉大使けふ南京へ

本年一月以來十ケ月振り 會見の結果注目さる

【南京國通】有吉大使は、本月二十四日に蔣介石氏と會見する手筈になつてゐたところ、昨十九日磯谷陸軍武官、堀口書記官等と二時間にわたる重要會見の結果、わが根本方針の徹底的貫徹を期し、南京方面の打診をなすべく、さきの豫定を變更し、本廿日急遽南京に赴き蔣介石氏と會見することになつた、有吉大使と蔣氏との會見は本年一月に行はれたきりで、今回のそれは十ケ月振りである、大使は單的に蔣氏に向ひその反省を求むるものと見られ、南京行を前に

二十四日會見の豫定を情勢の推移のためにくりあげることとなつた、南京に於いては蔣氏と會見するのは勿論であるが、汪氏をも見舞ふつもりである

と語つてゐる、南京政府がこれに對しいかなる態度に出るかは最も注目される所である

對南京政府關係で 宣言發表一日延期

停戰區域も獨立の特別區に

（天津にて金久保特派員十九日發特電）華北防共自治委員會は、廿日宣言發表の豫定であつたが一日遲れて廿一日全支那に對し華北自治政權誕生の宣言を發表さるることとなるもの如くである、右は國民政府側との折衝の都合によるものであると言はれてゐる、對國府關係に關聯し從來の停戰區域がやがては獨立の特別區になるであらう點が注目される

自治政權總統に 段祺瑞氏を推擧す

（天津にて金久保特派員十九日發）自治政府の總統たるにふさはしい人物として呉佩孚氏の呼び聲が高かつたが、宋哲元氏はこれにつき段祺瑞氏を極力推擧してゐる由である、段氏は仲々これに應諾の意を示さないとのことであるが、宋哲元氏はあくまでも段氏の出馬を求むべく努力するものと觀られてゐる

防共自治委員會 南京政府で原案承認

【南京十九日發國通】國民政府は北支那要人よりの具申に基き華北防共自治委員會の組織及び機構に就き檢討を加へた結果新機構には一切干涉せず原案の儘承認許可するに內定した

華北新政權成立と共に 財政委員會設置

華北資源を開發す

【北平十九日發國通】華北新政權の成立と共に財政委員會を設置河北以北の沃野丘陵地帶に埋藏されてゐる無限の寶庫を開發、日本產業界の卓越した產業技術と協力して茲に日滿支三國の經濟ブロック確立へ邁進するに決定した、財政委員會の使命は左の如くである

一、日滿兩國產業界と協力し久しく地下に埋藏されてゐた北支那の石油、石炭を開發する
一、山東省その他に於る棉作業を擴張、日本紡績業界と協力して世界無比の棉業王國を確立する
一、低廉な日本品を輸入して華北五省農民の生活費を輕減する
一、國民政府の無謀な銀國有令から離脫し通貨政策上には日本圓とリンクする

承認された 陸、海軍豫算主計局案

【東京國通】十八日の大藏省首腦部會議で承認された陸海軍豫算主計局案の內容は大體左の如く觀測される（單位百萬圓）

△陸軍省

新規要求額	三四〇
新規承認額	二三〇
既定經費	二五四
查定案總額	四八四

△海軍省

新規要求額	三〇〇
新規承認額	一〇〇
既定經費	四一〇
查定案總額	五一〇

大演習後最初の 定例閣議

【東京國通】十九日の定例閣議は大演習で多數閣僚離京の爲前後二回に亘り休止の後を受けて午前十時四十分より開會、岡田首相以下各閣僚（川島陸相、內田鐵相、後藤內相山崎農相、松田文相缺席）出席、先づ大角海相より過般行はれた海軍大演習に關し報告あり、次で岡田首相より陸軍大演習に天皇陛下の御精勵あらせられた事に關し謹んで報告し、更に廣田外相より過般の上海に於ける水兵射殺事件及び邦人商店襲擊事件に就き支那側との交涉顛末並に北支の情勢及び南京政府の幣制改革問題に就ては陸、海軍、外務の三省協力して善處して行く考へである何れ陸軍首腦部が大演習地から歸京すれば更に協議を遂げて出先官憲とも連絡をとり國策として誤りなきを期してゐる旨を說明し諒解を求め正午散會した

自治準備代表會議で 最後的對案決定

委員長に宋哲元氏

【北平十九日發國通】北支五省主席並に實力者代表より成る自治準備代表會議で十八日午後十一時までに決定した最後案左の如し

一、北支五省は各自治省例へば河北自治省、山東自治省と稱す
一、自治省の連絡機關として最高機關たる中華民國華北防共委員會を置き、委員長を宋哲元氏としその下に交通、經濟、文化の三委員會を置く
一、關稅統稅、鹽稅は中央政府に送附せず最高委員會で五省に分配使用す
一、軍事は最高委員會で決定する

十二月初旬ごろ 關東局警察官異動

警部級十餘名大東公司入りで

今回關東局警察官警部級十餘名の大東公司入りに伴ふ後任補充の人事異動は相當廣範圍に亘つて行はれる模樣であるが異動發表は大體十二月初旬と見られてゐる、尙今回の動きは東條警務部長就任最初の異動の事とて各方面より期待されてゐる

蒙政部の警務機構 大々的に改革

警務科を警務司に

蒙政部では興安省の警務機構改革準備も大體目鼻がついたので蒙政本部の統轄機關たる民政司警務科を警務司に擴大する事となり目下官制案の作成を急いでゐるが蒙旗警察行政は從來各旗の旗兵によつて行はれてゐるが蒙政本部の機構擴大に次いで各旗の警務機構も整備される段取りである

林務行政組織化

蒙政部管下の林業に就ては暫行的に既設三林務署が林務行政の現地機關として事務を鞅掌してゐるが康德三年度早々之が組織化を圖り目下官制案の作成中である右官制の公布と共に更に十ケ所に林務署を增設して伐採植林其の他林務行政全般の現地機關とし勸業司の統制下に事務を鞅掌せしむる筈である

對滿爲替交換媒介を 日本に依賴す

香港郵政廳來月一日から實施

滿洲國の郵便業務に對する諸外國の認識は漸く深まり最近に於てはドイツ、オランダ、ポーランド等次々に滿洲國との郵便爲替交換が開始されてゐるが更に十九日香港郵政廳より日本媒介による郵便爲替交換を提議し來つたので交通部ではこれを快諾し左の條項により十二月一日より香港郵政廳との間に日本媒介による爲替交換開始の回答を通達することになつた

一、本邦より振出の場合は日本國に於て爲替金額（日本國通貨）をそのまゝ香港宛爲替に書換へて送附する
一、香港より振出されたる爲替（日本國通貨）は日本國に於て爲替金額より媒介手數料（爲替金額の千分の一）を控除し新に本邦宛爲替に書換へて送附す

即ち右媒介爲替交換により滿洲國より香港への爲替はその間何等の手數料を控除されず香港より滿洲國への爲替は單に千分の一の媒介手數料を控除されるのみで料金の點に於てみれば直接交換と何等變りない

エヂプトの 反英暴動益々熾烈化

【カイロ十八日發國通】學生團を中心とするエヂプト獨立運動は依然鎭靜に至らず不穩の空氣は全國に波及するに至つた、十八日早朝學生團はカイロ市內廣場に集合し「英帝國主義の打倒」を絕叫して氣勢をあげた、屋外大會も隨所に開催されてゐるが市民は何れも祖國エヂプトをイギリスの羈絆から解放する爲には一命を捧げて鬪爭する旨宣誓する等の熱狂振りだ、カイロ全市は戒嚴狀態下にあり警官隊は市の要所要所に頑張つて嚴重取締つてゐるが示威團は議場を占領して容易に退散せず警官隊は時々裝甲車を群衆の中に突入させて追散らす作戰に出てゐる、アレキサンドリヤでは數名のエヂプト人が「ホーア外相を鏖せ」「スーダンを確保せよ」と絕叫しながら目拔きの大通りを示威行進したと傳へられる

滿洲國辭令

滿洲國では十九日附左の通り發令したが荒木郵務科長の總務廳入りは人事處給與科長に江崎氏は總務科長に就任するものである

總務廳次長 大達茂雄
補帝室大典委員會幹事長 法制處長 大坪保雄
補帝室大典委員會幹事 交通部理事官 荒木萬壽雄
國都建設局理事官 江崎猛
轉任營繕需品局理事官

北票炭鑛の新陣容

炭鑛一元化の國策に從ひ滿洲炭鑛會社の買收に應じた北票炭鑛株式會社は過般の評價委員會に於て買收價格の決定を見たので愈々新經營者の手に實施を移すことになり十九日午後一時滿洲炭鑛會社內に臨時株式總會を開催、舊役員全部の辭任を認め之に伴ふ新役員の選擧を行つた、その結果左の諸氏が就任した

總理	粟野俊一
經理	安部菅一
協理	長久美
董事	成田正彥
同	石田泉一
監察人	米澤靖
同	山崎一雄

尙炭坑長には協理長久美氏が兼務する筈である、かくて新陣容整つた北票炭鑛は兩三日中に代表者を現地に派遣、舊役員より事務の引繼を受け今後滿炭の統制方針と步調を合せ經營の合理化を圖る筈である、なほ從業員は從來通り就業せしめ一人も犧牲者を出さぬ方針である

滿鐵々道部 列車防音裝置

研究に着手

【大連國通】列車が疾走する際の震動によつて生ずる音響並に車輪がレール面を摩擦して生ずる音響を如何にして防止し得るかを研究するため滿鐵々道部では十八、十九の兩日は「はと」二十、廿一、廿二の三日間は寢臺車、廿五、廿六、廿七の三日間は「あじあ」の各車輛につき今回ドイツのシーメンス會社から購入した音響試驗機によつて實驗し引續き鮮鐵局の「ひかり」に於て試驗することゝなつた試驗の結果に基き防音裝置を施す筈であるが、先づ車輛の重要部分に絕緣材を使用する外特に鐵道部市原技師の考案發明になる車輛防音裝置を施す事となつた、此の方法は二ミリ角のキルクの微粒を車輛の輛軸にペイントで塗布固着せしめるもので此の方法によると車輛一個につき約二〇パーセント音響が減殺される事が實施されてゐる

三社技師立會で 石灰の調查

滿洲セメント會社が當局より設立の認可をうけた四平街工場については世上種々臆測されてをり殊に最も重要な石灰については滿洲セメント側及び康德組合を通じて同社と密接な關係を以つてゐる淺野社との間に意見の相違を來し遂にこの石灰の有無につき滿洲セメント淺野及び盤城三社の技師立會の下に調查を行ふことゝなつたので同工場設置も從つてこの調查完了の上改めて決定されることとなつた、即ち同社が豫定せる鄭家屯の石灰山につき同社では石灰山の品質並びに埋藏量も充分であるに對し淺野側では右意見を否定し結局意見の不一致を來したので遂に康德組合員たる盤城社の技師を立會して調查することとなり滿洲セメントより佐々木技師淺野社では大同園川技師盤城社よりは上木技師を現地に派遣せしめ目下調查を行ひつゝあるが調查の完了は十二月上旬といはれてゐるから滿洲社及び康德組合では該調查の復命を俟つて改めて設置の可否を決定することとなつた

平津各大學 謠言を取締る

【北平十九日發國通】華北自治政權確立運動進展化に伴ひ平津各大學生間には種々の謠言飛びをるに鑑み平津衞戍司令宋哲元、河北省首席商震、北平市長秦德純の諸氏は十九日正午市政府に各大學々長並に教授を招集して斯かる謠言は全然根據なきものであるから學徒はその本分と學の權威を保持して安心して就學するやう訓示を與へるところあつた

山脇房子女史

【東京國通】豫て病氣療養中の山脇高等女學校長山脇房子女史は十九日午前十一時赤坂檜町の自宅で慢性氣管支炎で逝去した、享年六十九歲

人事往來

▲竹田確忠氏（海運業）十八日午前來京國都ホテル
▲西村好雄氏（建築技師）同午後來京同
▲植野鐵之助氏（軍人）同
▲松田千二氏（三機工業株式會社）同
▲平井新藏氏（電業會社）同
▲內山松次氏（滿洲國官吏）同
▲橋詰雪太氏（會社員）同
▲網野一布氏（南滿洲工業株式會社）同
▲井本武雄氏（大藏省書記官）十九日午後大連へ
▲矢野少將（關東憲兵隊司令部附）同奉天へ

航空往來

▲山田幸助氏十九日午前ハルピンへ
▲海野浩太郎氏（新京清水組）同
▲渡邊俊三氏（同）同
▲古岩正雄氏（同）同
▲山際正道氏（大藏省官吏）同午前ハルピンより
▲大槻義公氏（同）同
▲橋本龍伍氏（關東軍囑託）同
▲川村少佐 同
▲橫山少佐 同
▲加藤藏之助氏（新京官吏）同延吉へ
▲新田茂雄氏（鐵嶺鑛業）同奉天へ
▲水谷信吾氏（大連會社員）同午後奉天より
▲中山喜久馬氏（ハルピン會社員）同
▲澤田萬佐喜氏（會社員）同
▲荒木滿壽雄氏（交通部事務官）同大連より
▲世戶淸氏（奉天會社員）同吉林より
▲西納毅一氏（同）同
▲佐々木虎雄氏（吉林）同
▲松本伍郎氏（大連）同午後チチハルより
▲加藤大佐 同
▲磯谷少佐 同
▲光延東洋氏（軍人）同ハルピンへ

新京に立寄つた永野軍縮全權、この前に五・五・三で承知したからといつて、今度はそうは參らぬ、と堅い決意のほどをほのめかす▼相手はアメリカだらうがイギリスだらうが構ふところない、堂々所信を披瀝し、それで相手が氣に入らなければ、サッサと引揚げて來るまでさ▼むろん責任はこつちにない、五・五・三などこんな算盤のはじき方は一體どこにあるものか、吾等の全權に望むところ五・五・五を絕對に引かぬことだ▼對伊制裁案漸く發動、聯盟五十二ケ國が頭を揃へたところ豪勢だが加盟國でないドイツはもちろん、肝腎のオーストリヤ、ハンガリー等々隣國が參加を拒否してゐる▼これでは綻びた袋同然で切角捕へた鼠も逃げられそう、たゞ掛聲ばかりに終らねば幸ひとでもいはう▼地方委員と區長の不仲も久しいが最近は事每に反目の形だといふ話だ、何が彼等をそうさせたか、吾等は彼等の眞の奉公心を疑ふ

社說

軍縮會議と米國

國際的緊張の一九三六年を前に

一

かつての米國大統領ウィルソンは、例の世界大戰について「戰爭を終らしめる戰爭」といふ言葉を幾度も繰り返し、そしてつひに「世界の平和、國際間の安全」をモットーにその理想實現の機關たるべき國際聯盟といふ一つの道具を誕生せしめたのであつた。聯盟は戰爭に蹂躙されたヨーロッパ諸國の民衆の希望と想像力に火をつけた。そしてこの希望と想像の所產たる一機構が、恰かも智能的な、また道德的な理想外交の基礎であるかの如くに考へられてしまつたのであつた。尤もヨーロッパの主要な政治家たちには、聯盟は害のない偶像だと考へられてゐたのである。そしてそれは全くその通りであつたことが、この最近數年の歐洲政局の動向に明白に示現されてゐるのだ。日本の聯盟脫退はまさしくこの眞の機構正體を見拔いたからこその堂々たる新しい行進への序曲に外ならなかつたのだ。

二

聯盟と無關係に、近く英、米、日、佛、伊五個國の海軍軍縮會議がロンドンに於いて開かれるのであるが、自ら聯盟を立案ししかもそれへの參加をしなかつたところの米國が、いまやこの會議では、大きな役割を持たされようとしてゐる。われ〳〵は此米國の態度に對してかなりに緊張した注視をつゞけざるを得ない何故ならば米國は、最近の報道によつても知らるゝ如く五五・三の比率の改訂には斷じて應ぜぬと、極めて强硬な態度に出てゐるからである。

三

すなはち米國のスワンソン海軍長官は先月二十三日、ワシントンに於ける各新聞記者との會見に於いて、わが東京より報ぜられた、日本政府は資源分配などの國際經濟問題をも檢討せんことを希望するとのニュース問題を問題として取り上げ「海軍會議では海軍問題に關するだけでも難關が少くないのだから斯くの如き他の方面の問題を討議することは至難であらう」と言ひ更に「日本が如何なる問題を提議するかは承知してゐないが米國海軍としては現比率の改訂には斷じて應じ難い」と言明してゐるのである。

わが帝國の態度は、合理的な世界平和、而しながら、これの實現の爲には不脅威、不侵略の軍備を要するといふ堂々たる主張が宣せられて居り、永野首席全權も一昨夜急忙な赴歐の途中過京のとき、「ジュネーヴ……そしてロンドンか、さあ、あの時のジュネーヴの雰圍氣が所を變へて再現されるかも知れない」と意味深長な言葉を語つてゐる。ロンドンの冬、そして世界的緊張時たるべき一九三六年だアメリカニズムの利益の旗、その巨大艦隊計畫をいかにするか?われらは會議の進行を、なかにも米國の出様を注目しつゞけるものである。

退職資金制を廢し恩給制を採用か

滿鐵で立案研究中

【大連國通】滿鐵では社員の給與制度の合理化、經費外支出の節約を圖る見地より社員退職資金制度を

廢止 しあらたに恩給制度を設けんと企圖してゐる事が傳へられ、長年勤續した社員特に現場社員に多大の衝動を與へてゐる滿鐵が現在全社員に退職資金を支給するとすれば合計約六千萬圓の現金を要し、しかも逐年遞增の趨勢にあり、此の際此の制度を改革するに非ざれば遂に負擔に耐へ難き巨額に達するであらうとの觀點から考案されたものゝ如く、その要點は次の如きものであるとす

一、滿鐵の恩給年限を七ケ年とす
一、從來の退職資金制度は昭和三年度に溯り之を打切る
一、昭和三年以前に入社せる社員に對しては昭和三年末迄の退職資金額を計算し退社迄實際支給を保留する
一、昭和四年以降を恩給年限に算入す、即ち昭和四年の入社々員は十年末を以て恩給年額に達す

尙滿鐵が昭和八年度中に退社した社員に支給した退職資金は二百三十萬圓で

例年 平均三百萬圓の退職資金を支出してゐる

外國爲替管理法

十二月十日頃實施の豫定

滿洲國の新通貨政策に伴ふ外國爲替管理法は日本側との折衝を終つたので愈々來週中に閣議參議府を經御裁可を仰いだ上公布し二週間の猶豫期間を置いて施行勅令とともに實施することに決定したので十二月十日頃日本側と時を同じふして實施される事になつた確聞するに內容の全文は左の如くである

△外國爲替管理法

第一條　政府の命令の定むる所に依り左に揭ぐる取引又は行爲を禁止又は制限することを得
一、外國通貨又は外國爲替の取得又は處分
二、外國通貨の輸入又は金地金、金の合金を主たる材料とする物、外國銀貨若くは銀地銀の輸出又は輸送
三、外國に對する送金
四、外國に於て爲したる委託に基き國內に於て爲す支拂
五、外國通貨を以て表示する證券債權、又は債務の取得又は處分
六、外國通貨に依る取引

第二條　政府の命令の定むる所に依り前條の禁止又は制限に關係ある事項につき報告を徵し又は帳簿其他の檢査を行ふことを得

第三條　政府は命令の定むる所に依り外國通貨又は外國爲替に關する取引を滿洲中央銀行、其他の政府の指定する者を相手方とする場合を指定することを得

第四條　政府は命令の定むる所に依り外國通貨、外國爲替、外國通貨を以て表示する證券若くは債權、金地金若くは銀地金を有する者に對し自ら之を處分すべきこと又は滿洲中央銀行其他政府の指定する者に賣却すべきことを命ずることを得

前項の規定に依り政府の指定する者に賣却すべきことを命じたる場合に於て當事者間に賣買價額整はざるときは財政大臣の定むる所に依る

第五條　第一條又は第二條の規定に基きて發する命令を以て規定する取引又は行爲の禁止又は制限に違反したる者は三年以下の有期徒刑又は一萬圓以下の罰金に處す

但し當該取引又は行爲の目的物の價格の三倍が一萬圓を超ゆるときは罰金は當該價額の三倍以下とす前條の規定に基きて發する命令に依る外國通貨其他を處分し又は賣却すべき旨の政府の命に從はさる者は一年以下の有期徒刑又は當該外國通貨其他の價額の二倍以下の罰金に處す

第二條の規定に基きて發する命令に違反し報告をなさず虛僞の報告をなし帳簿其他の檢査を拒み又は帳簿書類の隱蔽不實の申立其他の方法に依り檢査を妨げたる者は六月以下の有期徒刑又は五千圓以下の罰金に處す

本法に基きて發する命令に依り政府に提出する許可の申請書其他の書類に虛僞の記載を爲し其他の方法に依り政府を欺瞞したる者又同じ

第六條　法人の代表者又は法人若くは人の代理人使用人其他の從業者が法人又は人の業務に關して前條の違反行爲を爲したるときは行爲者を罰する外その法人又は人に對し亦前條の罰金を科す

第七條　本法の罰則は本法施行地に本店又は主たる事務所を有する法人の代表者、代理人、使用人、其他の從業員が本法施行地以外に於て爲したる行爲にも之を適用す、本法施行地に住所を有する人又はその代理人、使用人、其他の從業者が本法施行地外に於て爲したる行爲に付亦同じ

第八條　本法に於て現大洋、現小洋、其他の舊銀通貨は外國貨と看做す

附則

本法は康德二年十二月　日より之を施行す金輸出禁止法は之を廢止す但し本法施行前同法の罰則を適用すべかりし行爲に就ては同法に依る

車中陸相を擁し重要案件を解決

【東京國通】定期異動、明年度豫算問題更に北支の情勢變化等で繁忙を極めて居る陸軍省では古莊次官以下關係首腦部が二十日大演習地から歸任する川島陸相を途中まで出迎へ車中で陸相不在中の事務に就き詳細報告すると共に緊急當面の重大案件に就き說明し一擧に解決を期する事となつた、即ち影佐滿蒙班長は陸相を京都まで出迎へて北支の新事態に就て說明報告し、大城戶經理局主計課長は名古屋まで出迎へて難關視されて居る明年度陸軍豫算に就て報告進言し更に古莊次官、後宮人事局長は靜岡まで出迎へて十二月の定期異動に關し詳細說明し廿一日に陸軍三長官會議を開き正式に異動を決定し直ちに上奏御裁可を仰ぎ內命を發するに就ての具體的打合せを遂げる事になつた、斯くて川島陸相が廿日歸京するのを待つて陸軍中央部の重要問題は急速に進展するものと見られて居る

中銀哈爾濱分行 總經理決定

滿洲中央銀行ハルビン分行はかねて道裡新城大街に新築中のところ愈よ落成したるに就き來る十二月七日より新行舍に移轉することゝなり同時に從來の分行舍に道外支行を設置し現在の道裡支行はこれを廢止することゝなつた尙日滿通貨パーの安定に伴ひハルビンに於ける中央金融機關としての使命をつくすに萬遺漏なきを期し分行を擴大して總經理を置くこととなり總經理には本日鈴木兼則氏が任命された

カチト　◀中傷はとらず▶　住所氏名明記の事

不信極まる 吉林滿鐵 消費組合

滿洲國成立後一攫千金を夢見渡滿各地に營業する惡商人の跳梁は暫く措き、苟も滿鐵と名のつて消費組合にして吉林滿鐵消費組合の如き不信、非道德極まる惡行爲は我等加入者として看過するを得ず

即ち同組合は現在市中の何人を問はず出入せしめ市中、滿鐵、總局と三段構への販賣策を取り三樣の定價を以て賣捌くなど洵に以て奇怪至極である、依つて滿鐵當局は右組合の不信、非人道行爲を調査し廢止又は營業停止、編成替等適處せられん事を望む（一加入者）

滿鐵倉庫の貨物には

滿鐵で火災保險を附す

【大連國通】滿鐵は從來倉庫保管貨物の損害に對しては責任を負はず例外として

一、大連埠頭及小崗子驛保管貨物
一、混保大豆

に對し火災保險制度を設け特別取扱を爲しその他の貨物に對しては貨物寄託者の希望によつて會社が火災保險を附することを代行して來たが其間色々の煩雜不都合が生じ易いので來る廿一日より滿鐵經營倉庫に寄託する貨物に對しては全部滿鐵側が火災保險を附することに決定し此旨發表した

滿洲國の度量衡と計量の單位（二）

權度局企畫科長　高橋丈夫

のに五尺平方（一複步を五尺とす）を弓と稱して之に依つて表はしますと次の如くなります

地積の單位は畝が基本でありまして此の畝には大畝、中畝小畝の區別があり都會程小く田舍に行く程大きい傾向を示して居ります一畝を決めます

▲種類	▲大さ	▲實量	▲倍單位
小畝	二四〇弓	六、一阿	丁天日（又は晌）十畝
中畝	二八八弓	七、四阿	晌（十畝）方（四五晌）井（三六方）
大畝	三六〇弓	九、二阿	晌（十畝）

量の單位に就きましては升が基本でありまして之亦十進に依り小さい方は合、勺、撮、大きい方は斗、石でありますが枡の實量に就きましては地積と同樣に都會程小く田舍に行く程大きい傾向があります例へば奉天の牛斗は一一、八立ですが赤峰、富錦、齊々哈爾等に於きましては二三立乃至二四五立で倍以上の差があるのであります

酒、油等を計ります單位としましては升合等を用ひず枡であり乍ら半斤量器とか四兩量器とか云つて重量で呼ばれて居ります

衡の單位に就きましては斤が基本でありまして斤の十六分の一が兩それ以下は十進で錢分、厘、毫、糸、大きな方は百斤を擔と云つて居ります秤は殆んど全部が桿秤でありまして金銀等の高價なるものゝ計量に極少數ではありますが天秤が用ひられて居ります桿秤は蘇秤（又は糸秤）と子とに別れ前者が斤を單位として目盛つてるに反し後者は殆んど兩を單位とした目盛であります面白いことには次の表にも出て居りますが蘇秤の一兩より子の一兩が稍々大であります

▲種類	▲一斤の實量	▲一兩の實量	▲用途
蘇秤	五〇〇瓦乃至五五四八瓦	三一瓦乃至三四瓦	一般雜貨、貨物の計量に用ふ
子		三四瓦乃至三六瓦	藥等比較的高價品の計量に用ふ
天秤		三四瓦乃至三六瓦	金銀寶石の計量に用ふ

以上が在來の度量衡（營造庫平制）の大要でありますがこゝで度（最も多く使はれる裁尺、營造尺）及衡に於ては各地の差が多くとも一割程度なるに反し地積及量の單位は五割乃至十割以上の差のある事が氣付かれます

總局監察初打合せ會議

【奉天國通】鐵路總局では十八日午前十時より新設された總局監察の初打合せ會議を開催、平田、大里、山領、芳賀氏等監察參集、宇佐美總局長より監察制度運用に就き訓示を爲し種々意見の交換を行ひ同十一時散會した

勞働總同盟及全國勞働合併

【東京國通】單獨より合同へ又逆轉と採拔いた勞働總同盟と全國勞働組合同盟の合同問題は十六日協議會で新組合の名稱及び役員問題も解決したので、十七日午後總同盟本部に合同委員全員出席し協議の結果全日本勞働總同盟が茲に誕生した會長は松岡駒吉氏副會長は河野密氏と西尾末廣氏に決定した

蒙古司法會議

司法部では國內に於ける特殊的立場にある興安省の司法制度確立のため來る十二月五、六の二日間に亘り興安省々公署審判廷推事、事務官、省公署檢察處警正、司法股長並に興安各省旗長一名宛を本部に召集現地側より本部首腦者、最高法院檢察官及び蒙政部關係官の出席を求め蒙古司法會議を開催することになつた、右會議に於て從來漢人、蒙人間に軋轢を繰返へされた旗の管轄權、土地に關する權利、其他一般訴訟問題等を主要議題とし從來の旗に於ける司法制度の實體を知り將來蒙古司法制度に就き特殊制度の有無を檢討すると共に現在の司法事務處理の情況を聽取することになつた

田中交通監督部長 視察日程

田中關東軍交通監督部長は來る二十四日から約一週間に亘つてチ、ハル、海拉爾、滿洲里ハルビン奧地方面の初巡視各機關訪問を左記日程で行ふ

△二十四日午後八時三十分發四平街經由チ、ハルへ
△二十五日チ、ハル着、同日チ、ハル鐵路局、同監理所の巡視しチ、ハル鐵路局の經理監査
△二十六日昂々溪〇團司令部特務機關、國道建設處その他訪問
△二十七日札賚諾爾炭鑛國境特務機關視察
△二十八日滿洲里〇〇〇團兩司令部、洗毛廠訪問
△二十九日海拉爾
△三十日ハルビン鐵路局、電々管理局、水運局、國道建設處、〇團司令部訪問
△一日午後一時五十分着"あじあ"で歸京

愈よ吉鐵へ引繼

五常、拉法間百五粁

【吉林支局發】本月十日鐵路總局職制改正に伴ひ拉濱線の一部五常、拉法間百五粁は哈爾濱鐵路局より吉林鐵路局へ移管さるゝ事になり、其後は哈爾濱局にて管理を代行するの形になつてゐたが、愈よ引繼ぎの準備が整つたので吉鐵より渡邊經理科長以下二十八名の一行が十八日出發赴哈し二十日同地に於て引繼ぎに關する一切の手續きを完了したる後、臨時列車にて五常、拉法間の各驛を巡回して指示を行ひつゝ二十一日歸任の豫定になつてゐる

狸狩戰法で張振東匪を殲滅

【錦州國通】謝字杖子の一戰に巨魁劉振東匪を激滅した川岸部隊松井討伐隊は引續き朝陽南方地區に屯ろして殘匪掃蕩を續けてゐるが、錦西西北三里附近にあつた齋藤大尉の指揮する步兵〇〇隊は同地東南方の山奧の洞窟に匪首張振東の率ゐる殘匪が潛伏中なることをかぎつけ十二日午後早速急襲を試みたが、匪賊の所在皆目判らず引續き搜査中のところ一兵が木で作つた

洞屈 を發見し內部に入込まんとするや突如拳銃の亂射を受けた斯くと知つた齋藤部隊は徐ろに洞窟の入口に向つて包圍隊形をとり小銃、輕機關銃を並べて射擊を開始したところ忽ち五、六名の匪賊が洞窟內から飛出し待ち設けてゐた我十字火を受けて斃れた、然しその後は何者も出て來ないのみならず短い冬の陽は最早とつぷりと暮れたので一策を案じた〇〇隊では狸狩戰法を眞似て附近の高粱を狩集め燻し續けた後十三日朝洞窟內に入つてみると匪首張振東を始めその子張春台以下二十八の

匪賊 が枕を並べて斃れてゐる外小銃八、拳銃十二、彈藥二千發を始め多數の書類掠奪品が所狹きまでに散亂してゐた、因みに匪首張振東は劉振東配下の有力匪首で謝字杖子の潰滅戰で運よく命拾ひしその附近に遁走したところを全滅されたものである

丁香廬漫筆（廿七）

滿洲移民は成功するか?（四）

何處でも同じ事だが百姓の仕事と云ふものは年から年中大地と相撲を取つて暮すようなものだ、開墾事業となれば尙の事である、最も尋常な氣分で倦まず撓まず自然風雨との鬪爭を永久的に一生續けて行くと云ふ事で無くてはなるまい山東移民は支那內地の苛政窮迫を脫して北滿に來りやれ〳〵と云つた氣持で暢氣に安心して開墾に從事する西比利亞から北滿に這入つた露西亞人は氣候が幾分緩和されるので是亦ホットした氣分で先づ豚、牛、鷄等を飼ひ馬鈴薯を植えたら、それでもセットルダウン（土着）して仕舞ふ、凡そ緊張とは頗る緣の遠いものである、日本移民も山東移民や露西亞人に負けぬ暢氣さと持久性とが無くては結局失敗に終りはせぬか、今後も憂慮は續く。

× ×

米國の日本移民禁止以前には凄まじい勢で邦人が米國に流れ込んだのであるが此れは米國到着の其日から働きさへすれば必ず纒まつた金が鄕里に送れるといふ、經濟的に劣つた國から經濟的に優れた國への極めて自然なる移動であつた、怎うせ辛うじて食つて行くと云ふ程度なら矢張り日本に留まるのが至當で何を好んで滿洲下んだりまで移住を企てよう。況んや滿洲其物の經濟的狀態が遙かに日本より劣つて居ると云ふのでは尙更の事でないか。

それで滿洲に日本移民を誘致する最善の方法は廻りくどい樣でも滿洲に眞の善政を布き王道樂土を建設し滿洲農民の生活を我レベルに迄引上げて我農民軍の侵入に恰好の狀態に置き自由競爭の素地を作りて然る後征服に着手すべきである、前途頗る遼遠のやうだが眞の移民問題の解決は此以外に良策はあるまい。

愈々一千五百萬圓の滿洲大移民會社が出來る相だが滿鐵、滿洲國が現物提供三井、三菱が五百萬圓分擔に決つたらしい會社其物は將來廉い土地の値上りででも營利會社として悲觀する必要も無からうが眞の移民問題の解決に何程貢獻し得るか目下の處不明である何とかして補助金を最も效果的に使用し今後二十年も經つて自立の出來る迄の有力なるツナギたらんことを切望する鏡泊學園にせよ佳木斯移民にせよ失敗必ずしも意とするに足らぬ、要は地に落ちて死する『一粒の麥』となりて將來滿洲に於ける我民族大發展の收穫を豫想し得るならば大幸何物か此れに如かんやである（完）

筆者內地方面旅行中、約二週間休載致します

商況欄（十一月十九日後場）

金銀市況

●上海標金　前引 一二六〇、四〇　本寄 一二六〇、〇〇　步 ||

●大連金鈔票　寄付 一〇九、〇〇　引 一〇八、八五　高 一〇九、三五　安 一〇八、六〇　出來高 三〇万

▲十二月二十八日限　寄付 一〇九、〇五　步 [illegible]　引 一〇八、九〇　高 一〇九、四〇　安 一〇八、六五　出來高 一五六万

▲十二月十三日限　出來不申

●大連鈔票銀大洋　現物 一二一、九〇　一二一、七〇

●奉天國幣金票　現物 一〇〇、〇〇　一〇〇、〇〇

▲十一月廿八日限　出來不申

爲替相場

▲上海爲替

	第一回 賣	第一回 買	第二回 賣	第二回 買
▲日本向	一〇三、七五	一〇四、二五	||	||
▲倫敦向	一志二片一六分七	一志二片二分一	||	||
▲紐育向	二九弗一六分九	二九弗一六分二	||	||

大連爲替

▲上海向　九五、五〇　九五、三五　九五、三〇　九五、四〇　九五、三〇　九五、五〇　九五、五五　出來高 一四萬

▲煙台向　九五、六〇　九五、七五　九五、七五　九五、八五　九五、七〇

株式相場

▲大連株式（短期）

銘柄	寄	引
五品	一七、一〇	—
豆新	三三、三〇	—
錢鈔	一六、四〇	—
東新	一七〇、八〇	—
鐘新	一四七、〇〇	—
滿鐵	五九、一〇	—
二新	三五、四〇	—
日產	八二、〇〇	—

▲奉天株式（短期）

銘柄	寄	引
滿取	一七、四〇	一七、四〇
東新	一七一、〇〇	一七〇、五〇
鐘新	一四七、五〇	一四六、八〇
日產	八二、〇〇	八一、六〇

鮮魚小賣相場（十九日）百匁ニ付

品名	最高	最低
活タイ	一、〇八	五六
氷タイ	[illegible]	[illegible]
チヌタイ	[illegible]	[illegible]
連子鯛	[illegible]	[illegible]
アマタイ	[illegible]	[illegible]
中小タイ	[illegible]	[illegible]
小タイ	[illegible]	[illegible]
ブリ	[illegible]	[illegible]
ヒラス	[illegible]	[illegible]
サワラ	[illegible]	[illegible]
サバ	[illegible]	[illegible]
アヂ	[illegible]	[illegible]
カレイ	[illegible]	[illegible]
ヒラメ	[illegible]	[illegible]
ボラ	[illegible]	[illegible]
コチ	[illegible]	[illegible]
コノシロ	[illegible]	[illegible]
キス	[illegible]	[illegible]
イワシ	[illegible]	[illegible]
ムツ	[illegible]	[illegible]
アコウ	[illegible]	[illegible]
サヨリ	[illegible]	[illegible]
マナカツオ	[illegible]	[illegible]
タチウオ	[illegible]	[illegible]
カナ頭	[illegible]	[illegible]
グチ	[illegible]	[illegible]
ホーボー	[illegible]	[illegible]
タコ	[illegible]	[illegible]
イカ	[illegible]	[illegible]
水イカ	[illegible]	[illegible]
イセエビ	[illegible]	[illegible]
ハモ	[illegible]	[illegible]
エビ	[illegible]	[illegible]
コエビ	[illegible]	[illegible]
アナゴ	[illegible]	[illegible]
カイ柱	[illegible]	[illegible]
ナマコ	[illegible]	[illegible]
アワビ	[illegible]	[illegible]
カキ	[illegible]	[illegible]
シジミ	[illegible]	[illegible]
アサリ	[illegible]	[illegible]
カマボコ	[illegible]	[illegible]
チクワ	[illegible]	[illegible]
クヂラ	[illegible]	[illegible]
マグロ切身	[illegible]	[illegible]
ニベ同	[illegible]	[illegible]
ブリ同	[illegible]	[illegible]
サワラ同	[illegible]	[illegible]

手形交換（十九日）

金票 二六二枚 [illegible]
鈔票 二枚 [illegible]
國幣 二枚 [illegible]

二十八日限 國幣對鈔票 十三日限 [illegible]

新京取引所市況（十一月十九日後場）

現物（一石値段）　定期（混合百斤値段）　寄　引

先物 大豆 十二月限 [illegible]　一月限 [illegible]　二月限 [illegible]　三月限 [illegible]

二十八日限 鈔票對金票 十三日限 [illegible]

二十八日限 國幣對鈔票 十三日限 [illegible]

各地市況

▲横濱生糸　前場引　後場寄
當限 [illegible]
先限 [illegible]

●哈爾濱大豆　十二月限 九、八〇　一月限 九、五〇　二月限 九、四五　出來高 [illegible]

●同小麥　十二月限 一、四〇五　一月限 一、四二五　二月限 一、四四〇　出來高 [illegible]

▲神戸豆粕　十二月限 四、一四　一月限 四、〇四　二月限 四、〇三　三月限 四、〇六

銘柄	前場引	後場寄
大新	一〇六、五〇	一〇〇、六〇
五品	一七、〇〇	—
豆新	三三、六〇	—
電甲	一六、四〇	一六、四〇
同乙	一五、三〇	一五、三〇
滿鐵	五八、八〇	五八、八〇
東拓	一六、三〇	一六、四〇
東亞	一〇、〇〇	一〇、八〇
日魯	五九、五〇	六〇、〇〇
滿興	三五、五〇	三五、五〇
滿毛	一六、六〇	一六、六〇
二新	三五、五〇	三五、五〇
優先	一七、一〇	一七、一〇

省制改革後第一回の縣參事官會議

奉天省各縣の重要懸案討議

【奉天國通】省制改革後第一回奉天省廿八縣々參事官會議は保甲、義倉、外一件と縣財政の確立、農村振興策、教育大系の確立等農村經濟更生に關する幾多の懸案を中心として十八日午前九時半省公署禮堂に於て葆省長以下五十四名出席、竹内總務廳長の開會の辭に始まり葆省長より省政一般に關する訓示あり、終つて菅野關東軍代理、干第一軍管區司令官、宇佐美總局長等より講演あり、午前の日程を終へ午後は一時より再開、各廳長の指示事項及び諮問事項あり第一日を終へた（寫眞は公署禮堂における會議、中央起立せるが葆省長）

葆省長の訓示

【奉天國通】第一回縣參事官會議に於て葆省長は要旨左の訓示を爲した

滿洲國四圍の狀況に鑑み各官は回鑾訓民詔書の精神を體し建國聖業の達成に更に一段の專心あらんことを切望する、滿洲建國の過程に於て現在は尙ほ治安第一主義の時期である、目下進捗中の秋季肅淸工作に於て日滿兩軍の獻身的努力により日々その成果を收めつゝあるは眞に慶賀に堪えざる所であるが、各官は宜しく精力を傾注して日滿軍警に**協力**し討伐及び之れに伴ふ治安工作の完璧を期せられたい、昨年十二月を以て實施せられた省制改革は建國以來の懸案を解決し地方制度の確立上重要な基礎を定めたるものにして、過去一年の實績に徵するに大體に於て改正の目的を達しつゝあるものと認められるが尙その組織權限並に運用に於て幾多の檢討を要する事實を發見した、本省に於ては曩に縣長會議を開催し現下省內に於ける重要緊急の**問題**と目せられる治安確保に關する諸諮問を發し詳細檢討を遂げたが、本會議に於ては各縣下局の廢合統制、財政の確立、行政警察官の定員增加、農村振興方策、中等教育の統一等に關し各官の意見を徵すべく諮問を發して置いたのであります、之に對する正當なる結論を得るや否やは敎訓の刷新改善上影響するところ甚大なるものがある、諸官は政府の意のある所を察し忌憚なき意見を披瀝し眞理の發見に寄與せられんことを切望する次第である

會議第一日午後

【奉天國通】省下廿八縣參事官會議第一日午後の日程は一時再開、先づ竹內總務廳長起つて

縣政の第一線に起つて建國の聖業に日夜盡瘁せられる諸君の意見を聽取し所懷を述ぶる機會を得たことを欣快とする

と冒頭し

一、縣科局長の人事に關する件
二、縣費支辨縣職員の人事に關する件
三、縣費支辨日系職員採用に關する件
四、治安維持會費　豫算の運用に關する件
五、文書事務の整備刷新に關する件

其他一般行政の刷新、農村の經濟的更生等縣政の全面的向上につき指示をなし續いて、劉民政廳長より

一、地方制度に關する件
イ、區公署は可急的速に廢止すること
ロ、村區の廢合には地方事情を考慮すべし
ハ、街制の實施を考慮すること
ニ、村長村副の任命は民意を尊重し縣長をして行はしめること
ホ、屯長會議を組織し村政の諮問機關とすること
二、義倉に關する件
三、備荒田設置に關する件
義倉の經濟を容易ならしめその共同耕作により隣保共助の精神を涵養し兼て農事の改善に資する目的を以て備荒田の設置を奬勵せんとす
イ、備荒田設置要項
ロ、設置手續
四、新稅法に對する善處と財政の强化に關する件
五、財務事項の整備に關する件
六、財政の指導監督に關する件
七、舊情大局殘務結束に關する件

次いで三谷警務廳長より

一、治安肅淸工作
二、行政警察の擴充强化
三、警察官の敎養訓練と待遇改善
四、保甲制度の實施

次に實業廳長より

一、農村指導に關する件
二、農會に關する件
三、土地利用に關する件
四、勸農機關の充實に關する件
五、商會の充實に關する件
六、同業公會に關する件
七、度量衡に關する件

終つて教育廳長より

一、建國精神の徹底に關する件
二、小學校教育の普及に關する件
三、實業教育の改善に關する件
四、勤勞教育に關する件
五、省立師範卒業生の普及に關する件
六、青年訓練所實施に關する件
七、古蹟古物保存に關する件

等につきそれぞれ具體的に指示事項を說明三時一旦休憩の後三時十分より諮問事項の應答に入り

第一號議案　各縣臨時改組辨法に關する件
イ、科局廢合に關する意見
ロ、定員改正に關する意見
につき本溪湖、撫順、開原、淸原、海龍の各縣より
第二號議案　縣公署內各科局の統制協力に關する件
につき西豐梨樹遼陽、柳河各縣より
第三號議案　縣財政確立に關する件につき遼中、東豐、金川、興京各縣より
第四號議案　行政警察官の定員決定に關する件
に就ては輝南、双山、康平、西安、濛江の各參事官よりそれぞれ意見開陳應答を重ね午後五時第一日の會議を終了した

第二日は十九日午前九時より第一日に引續き諮問事項、希望事項の應答が重ねられた

丸茂大連市長着任

【大連支局發】新任大連市長丸茂藤平氏は十八日午前八時入港の熱河丸で夫人同伴着任したが船中で語る

何分當地は始めてなので仕事は先づ大連と云ふ所にやつて來て見て見當がついてからの話だ、もう年も若い譯ぢやなし滿洲で骨を枯す覺悟でやつて來た、滿洲には私の知已も相當多いし、これ等の人々より指導を、又市民諸君の御支援を俟つ外はない、大大連市計畫に就ては一寸ばかり聞かされてゐるが結局市政擴張と云つた所で監督官廳との諒解は先づ念頭に置かれねばならない事だろう、市當局ばかりがどんな計畫を持つてゐた所でそれを實現する場合には矢張り監督官廳との連繫が必要な譯だからね、要するに大連市と云つても別國ではない、日滿親善と云ふ大乘的見地からの市政の必要な事は云ふ迄もない趣味は相當廣い方で殆んど何でもやる、此の年で未だ酒に破目をはづす樣な事もあるよ

北滿

見たか！惡家主

全鐵路局員の宿舍移轉で　寒々と空屋の氾濫

【ハルビン支局發】鐵路總局では北鐵接收以來急激に殖へた職員に宿舍料を支給し各自隨意に宿舍を構へた爲忽ち住宅難に陷り市內家賃の無暴な値上げに哈爾濱初つて以來の家賃最高記錄を作り從つて當局の家主膺懲にまで直接間接の發意となつたものであるが接收も一段落着いた今日舊北鐵も殆んど引揚を終り宿舍も大分空いたので十二月より一切の宿舍料支給を廢止し局員は全部宿舍に收容する事となつたものである、これに付き總局では妻帶者、獨身者別に宿舍割當に努めて來たが大體その見當がついたので愈々二十日過迄に收容完了の豫定で局員はどん／＼市內を引揚つゝある

このことが一度市內に傳るや拔打的のことゝて驚いた家主側では狼狽し盛んに吸引策を講じると共にぼつ／＼家賃の値下が云々され一般市民は大喜びである

十二月からは市內に空家が續々出來家賃も低下するものと見られてゐる

哈市下水道の

＝建設工事進捗す＝

【ハルビン支局發】從來降雨の際には必ず街路上に見られた時ならぬ大洪水は、名物の街頭洪水として國際都市哈爾濱の體面を汚してゐたが、文化都市を建設する當局の三ケ年計劃康德四年六月完成の當市下水道建設第一期工事も其の後愈々軌道に乘り相當の進捗を見せた

△正陽河北方面都市計畫を並行する正陽河排水區內排水施設工事は二十萬立米の大排水の掘鑿工事完成を手初めとして排水ポンプ場も最近竣工目下工事を急いでゐる放水路の完成も明年早々と見られてゐる

△正陽河排水區と井街排水區の間に狹まれてゐる高士街排水區排水施設建設工事の一切は明年解氷期より開始される事となつて居るが當局では既に大體の設計を終つた模樣で此處には約一萬立米の排水溜池が掘鑿される事になつてゐる

△埠頭區一帶と八區一部を含む井街排水區の排水施設建設工事は先づ六萬立米の排水溜池を本月初頭遂に完成排水場建設工事は明年解氷期から開始される事となつてゐるが放水路の建設工事一部は最近開始された

△傅家　第一排水區では五道街附近の放水路及び排水路は既に完成目下工事中のものは六千立米の排水溜池と一部排水路であるがこの溜池は明年五月までには完成の見込み

△傅家　第二第三排水區の十八道街排水場は既に九分通り完成し一方放水路及び約七萬五千立米の排水溜池は明年解氷期から工事が開始される

右の如く愈々來年からは街頭洪水を解消し文字通りの文化都市としての大哈爾濱が建設されるものである

草分け時代を語る　座談會開催

【吉林支局發】吉林滿鐵事務所長山口四郞氏は邦人が此地に住み始めたる明治三十九年四十年の頃より吉長鐵道の開通に至る吉林草分け時代の各方面の事情が三十年に近き手術を經て當時よりの永住者は漸次に減少し今の內に何等かの記錄を殘し置かねば消滅して後代に傳はらないことを憂ひ自ら主催して「草分け時代を語る」座談會を十七日午後三時より共公館にて開催した、此日集まつたものは

山本尙能（飜譯官）、兒玉多一（本社支局長）、小田佐兵衞（齒科醫）、辻川佐助（森泰號主）、砂塚貞吉（質商）、吉武常一（木材商）、遠藤梅三郞（名古屋館主）、山口所長、吉田產業係主任、早川所員の十氏で、態々新京より速記者を聘して興味深き記錄を採り同九時この意義深い會合を終了した

私財を投じて

淪落の同胞を救濟　桑野市議の美擧

【大連支社發】人情紙より薄い世の中に、これはまた奇篤な人が現はれた、大連市會議員桑野彌一郞翁が即ちそれである、翁は多年に亘り小崗子方面の暗の世界に沈み魔藥の魅力に引摺られ乍ら淪落の淵に喘ぐ同胞の慘狀を拱手傍觀するに忍びずとなし、こうした病弱廢殘者の爲に最後の安住の塒と一碗の溫き粥を與へんと豐かならぬ私財を投じ彼等を救ひ、彼等の仲間から救世主の如く慕はれて來た翁はまた民政署の方面委員として永年カード級の救濟に力を致し、六十六の老軀を押して社會事業に貢獻した功績を數ふれば枚擧に遑がない、自已の短かい餘生をかうした人々の救濟に捧ぐべく決意し關東州廳、大連民政署、市役所滿鐵其他篤志家の援助を得て昭和九年七月一日大連慈惠會を起し、これを財團法人として自ら其の療養所長となり今日に至つてゐるが、此の間收容した員數は百三人の多きに達してゐる

病弱の爲めとは云へ知らず／＼暗の道に落ちて來た彼等、酷寒身に浸む歲末を控へ餓死線上に彷徨する以外に行くべき道のない哀れな人達にとつては桑野翁の存在は正に救世主であり翁の奇篤な行爲は世智辛き社會へ送る不滅の人情史として讚へられてゐる

ラマ教の概念に就いて（二）

二、喇嘛教の起源

喇嘛とは西藏語のブラーマで無上最上又は上人の意である、喇嘛教の起源は遠くバンジャブ、カシユミール等の地に大乘教が發達して密教となり更に婆羅門教等の數義と彼地の氣候風習に影響されて愈々根本小乘佛教より離れた一派を生ずるに至つたことは前述の通りであるがそれが西藏に傳はり所謂喇嘛教となつたのは尙後世の事に屬する西紀三六七年西藏王の位に即いたラトトリ王の時西藏に

佛教の傳つた口碑がある

それは王が或る時「オンボラング、ガング」と言ふ宮殿の望臺に坐してゐるとそこへ忽然として天から祈願合掌をした木像尺五の大きさの黃金の三重塔六字の名號「嘛呢叭迷吽」及び雜阿含の經文を納れた寶玉鑁の寶の四品が落下した、王はそれが何であるかを解することが出來ず取敢へず倉庫の中に納め置くやうに命じた、然るにこの聖品は倉庫內に他の品物と

雜然と

置かれてあつたから、王の身上と人民共には恐るべき飢饉、疫病等の災厄が絕へなかつた、斯くの如く災厄の續くこと四十年、時に王の許に容貌秀麗なる五人の外國人が來謁した、彼は奧妙なる靈能を有する聖品が倉庫內に放棄せられて有る事を歎いて落淚した、王は早速聖品を取出し厚く祀らしめた處國內の諸災一時に閉息して全く安寧福樂になつたと言ふ口碑であるがこれは既に此の頃西藏へは徐々に佛教が渡來しつゝあつた事を物語るものであらう、後西紀六百廿九年に即位したソンツアンガンボ王はラトトリ王から繼承した

聖品と

記錄の意義を知らんとし、トミサンボーダと云ふ學者を首班として十七人の西藏青年を印度に留學せしめた、彼等は熱心研究の結果初めてそれらの聖品が凡て佛教に關するものなるを知り、歸國に際しては多くの佛典と尙自ら國字を發明しそれに飜譯したる經典を持ち歸り王を始め一般人民に佛教の何たるかを諒解せしむる事に成功した尙ソンツアンガンボ王はネパールの王女ブリンブストンと唐の太宗皇帝の女文成公主を娶る事に成功してゐるが此兩女は

出國に

際して多大の佛像經卷を携へ來り入藏後は數箇の精舍を建立し佛教弘道に一大勢力を加へた

以上の如く印度ネパール唐より傳へられたる佛教は未だ純佛教或は大乘教に屬するものであつた樣であるが秘密教の傳へられたのはチスロンデツアン王（七二八－七八六）の朝島香延那（バンヂャブカシユミール地方）から巴特瑪巴斡大法師來朝してその教義を弘道宣揚した時に初まつてゐる

前述の如く西藏には純佛教徒及び秘密佛教が傳へられてゐるのであるが彼等自身は何れも

佛教と

稱し喇嘛教と稱することは當時に於ては勿論現今に於ても聞かない處であるから果して喇嘛教とは何れを指してゐるかは不明であるが外國人が西藏佛教殊に西藏に傳はり西藏に發達した密教に對する總稱のやうである故に喇嘛教の起源は嚴格に云へばバンジヤフカシユール地方であらうが實際は西藏に傳來されて以後の密教を喇嘛教と稱してゐるやうであるから西藏傳來當時（八世紀）の密教が前身であり起源であるとも云へやうと思ふ

親を吃驚りさす 子供の痙攣

慌てずに先づ灌腸を ―醫者の來る迄の手當法―

平常から餘程沈着な人でも、子供が痙攣を起した時は、狼狽して度を失ふ事が多い。それもその筈、痙攣と云へば、見て居られない程の苦痛な慘酷な有様を子供が行ふからであります。世人は子供が痙攣を起せば直ぐに腦膜炎だと思ふが、痙攣は決して腦膜炎ばかりに起るものでなくして、又痙攣が起つたからとて死ぬるものではないから、落膽するには及びません。

元來子供はよく痙攣を起すもので、大人ならば熱の出る前に惡寒戰慄だけで濟むところを猩紅熱、天然痘、疫痢それから稀には痲疹などに來る

―腦や― 腦膜の病氣には殆ど痙攣のなく終る事はない。腦膜炎、腦炎腦腫瘍、水頭（又は腦水腫ともいふ）腦脊髓膜炎などである。此の外インフルエンザの初めにも痙攣する事もあり腹の中に回蟲がゐても尿毒症と云ふ病氣でも、便秘しても痙攣する事のあるものである以上の痙攣に就き大切な事は必ず熱の伴ふことである、それから熱の出ない痙攣もあるそれは癲癇といふ病氣である又痙攣質といふ體質の子供はほんの僅かの事からよく痙攣を起すもので、又幽門痙攣と云ふ一種の痙攣は非常に危險でこれこそ痙攣したまゝでそれきり息が塞つて死んで了ふ事が屢々あるものである。

―幸ひ― に日本には少いが稀にはある、又耳の病氣でも痙攣を起す、只僅かの小さな豆が一つ耳の中へ入つてゐても痙攣を起すことがある、痙攣を起す病氣は此のやうに多いもので、從つてその手當も一々違ふから素人にも出來難い事がある。只痙攣を取り敢ず止める爲めには藥があるか、之も醫師に一任した方が、危險がなくてよいと思ふから玆では述べません。俗には痙攣したと云ふので、顏へ水を打つてみたり氣付け藥と云ふものを口の中へ押し込んだり、水を口移しに飮ませたり生姜を卸してその溶き汁を飮ませたり、或は何とか樣といふ神樣や佛樣の御札を口の中へ押し込んだりする者が多い。

―狼狽― と心配との際ではあるから無理はないが、子供のためには、こんな事が害があつても益はないからよした方がよい、痙攣つけたと思つたら、第一に子供の帶を解いて樂にしてやるべし、第二に蒲團の上に仰向に寢かすべし、第三に灌腸すべし、灌腸は平素から灌腸の道具を備へておくことで「グリセリン」か又は水五勺の中へ酢を五滴落した液で灌腸します、出た大便は醫師に見せるがよい、それで治らなければ、溫かい食鹽水か酒精又は酢で身體を摩擦して見るがよい。これでも治らない時には今度は湯を沸かして其の中へ子供を入れるがよい（入浴）

―尤も― 全身でなくとも脚だけでもよい頭を氷枕の上におくべし、かうして徐ろに體溫を測定し手足が冷たかつたら湯たんぽを入れて醫師の來診を待つのが最もよい方法である。

フランス風の ベレー帽の編み方

とても粋なものです

フランスで流行してゐる、毛糸編みのベレー帽を作つて見ませう。一寸絹をピンで止めてかぶつた、このベレーは又非常に粋なものです。

〔材料〕毛糸、白、黑、各三オンス、かぎ、編み棒

〔編み方〕先づ白と黑の毛糸を別々の玉に卷いておきますこの白黑二本の毛糸を、一本のやうにまぜ合せて編みます。くさり編を二寸編みます。これを二つに折つて、編みはじめの鎖の中に、短編を五目入れます。はじめの鎖編はベレーの先つぽになるのですから、その時は片寄らぬ樣に、この鎖編の根元をまはつてぐるりと五目短編を編みます。次の段は一目に二つづゝの短編を入れて行き、三段目もほぼそれと同じ程度に、ぐんぐん目を增して行きます。一寸位編みましたら、三目か四目おきに、目を一つふやす位にし、直徑六寸ほどになつたら、十目每に一つ目をふやす程度に止めますこの時の注意は、きくらげにならないやうに幾分加減して編まねばなりません。直徑が八寸になりましたら全然目を增す事を止めて、そのまま一寸程、編み續けます。かうして行くと、自然、お椀のやうに、曲つて來ますから今度は、十目每に一目づつ目を減らしますだんだんベレーの型になつてきます。周圍が頭のサイズまでに縮つたら今度は短編の手前の目だけをすくつて一段編みます。二段目、三段目は普通に編んで裏にかへしこの二、三段目の分だけを表に見えないやうにまつりつけます、注意しなければならないのは、全體を柔かくふつくらと編むことです。かぶる時は頭に合はせて型を作り後ピンで止めます。

學習の指導方法

子供の豫習復習のみかたについては、只今は前期末の試驗にも一寸間があり、一體に緊張のゆるむ時期でございますから御注意迄にかうした題目をかゝげてみました。家庭における學習指導の要點は

一、無理に强いてはいけないこと。
二、時々適當な讚辭を與へること。
三、學習を樂しい仕事と思はせること。
四、學校の時間割を活用すること。
五、豫習復習の時間を一定すること。
六、豫習復習は必ず習慣にすること。
七、自發的の學習に導くこと
八、學習は偏頗ならぬこと。

お料理獻立

甘鯛のちり鍋

お寒くなりますと鍋ものが喜ばれるものでこのちり鍋等は甘鯛ばかりでなく鯛や魴等何でも美味しうございますからお拵へ下さいませ

【材料】甘鯛、甘鯛の肝臟、適量、豆腐一丁、長葱六、七本、橙一ケ、卸し生姜と赤唐辛子の紅葉おろし、出し昆布、醬油少々づゝ

甘鯛はよく洗つて頭から骨ごとのブツ切りとしお豆腐は大きい奴に切り、葱は一寸二三分に切りお皿に盛り合せ橙を橫眞二つに切つて添へ、お藥味を添へお鍋に昆布を敷いたたつぷりの湯に甘鯛、豆腐、葱の順で入れて煮、橙汁と醬油をつけ乍ら頂きます。

蓋を開けた 構造社繪畫展

構造社繪畫展は去る十三日午前九時より上野の府美術館に於て開催された十二日鑑査の結果、搬入總數九百七十四點中入選作品は六十三點、會員の作品と併せて百四十三點である（寫眞は會場）

けふの番組

（M・T・O・Y 新京放送局）二十日（水曜）

◉朝◉

六、三〇 建國體操（滿語）
六、五〇 ラヂオ體操（東京）
七、一〇 入港船の御知らせ（大連）
氣象通報
「滿語講座」臨時休講
七、四〇 初等日語講座（奉天） 講師 近藤喜助
八、一〇 朝の音樂（大連）
八、三〇 經濟市況（東京）
九、〇〇 早晨演奏（大連）
九、二〇 料理獻立（大連）
九、四〇 經濟市況（大連）
一〇、〇〇 家庭講座 淸少納言の御話 赤塚久子
一〇、二五 家庭メモ
一〇、三五 經濟市況（大連）
一〇、四〇 經濟市況（東京）
一〇、五九 時報（東京）
一一、四〇 ニュース（東京、引續き新京）

◉晝◉

〇、〇一 經濟市況（大連 引續き新京）
〇、一〇 晝の演藝
〇、四〇 建國體操（滿語）
一、〇〇 白天演藝（大連） 京津大鼓 宋江坐樓 唱 鮑寶珍 絃子 王漢臣 南胡 鮑叔朋
一、二〇 ニュース（滿語）

二、〇〇 經濟市況（大連） 引續き 日用品値段（滿語）
二、二〇 成人講座（哈爾濱） 就結核豫防 哈爾濱第二市立病院長 賈連元
二、四〇 下午演奏（東京）
二、五〇 經濟市況（東京）
三、〇〇 ニュース（東京）
三、三〇 經濟市況（大連、引續き新京）
三、五〇 ニュース
四、三〇 ニュース（鮮語） 引續き 演藝（鮮語）
四、五〇 ニュース（英語）
五、〇〇 子供の時間（大連） 童話歌劇「新桃太郎」六場 大連銀鈴少女會 出て來るもの お爺さん 島津賀江 お婆さん 峰惠美子 桃太郎 猪子照子 鬼の大將 河野松生 其の他大勢

◉夜◉

五、二〇 コドモの新聞
五、二五 氣象通報 番組豫告
六、〇〇 ニュース（東京）
六、二〇 今晩の番組 官廳公示
六、二五 政府公報（滿語）
六、三〇 國民の時間 臺灣を觀て 外交部事務官 外間政恒
七、〇〇 常磐津（東京） 節句遊び戀の手習（三人生醉）
七、三五 俚謠
七、五五 物語 朝の喜び 伏見信子、外伴奏（東京）
八、三〇 時報・ニュース（東京）
八、四五 ニュース・ニュース・經濟市況 引續き 氣象通報・番組豫告（滿語）
九、〇〇 舊劇 賣馬 公餘俱樂部票友
九、三〇 戲劇（大連） 南陽關 黎明國劇研究社々員

一〇、〇〇 北滿の時間（露語）（哈爾濱より）
一、講演 ウクライナのゴルゴタ サマールスキー
二、レコード
三、ニュース

物語「朝の喜び」

横山美智子さんの原作を 伏見信子さんが語る

（東京より 後七・五五）

街の花賣娘ミサ子は、或晩街の古道具屋の店頭で、ふと、なくなつた母親の遺愛のヴァイオリンを見つけました、母は女流ヴァイオリニストとして鳴らした人でしたが病氣で死んでしまつたのです。ミサ子は、そのヴァイオリンをぜひ母の遺言に從つて買戻したいと思つたのですが、貧しいために手が出ません、賣らない事を約束して淋しく街へ出ていきます。

ミサ子の家の隣りに、紙箱工場へ出てゐる順吉といふ青年があつて、大變ミサ子を愛して親切にしてくれました。その順吉が、工場からもつてきて、ヴァイオリンを買戻せといつてくれたのです。が、古道具屋へいつて見ると、もう、そのヴァイオリンは賣れてしまつた後でした。ミサ子の失望ーヴァイオリンを買つていつたのは、髮の長い靑年だといふのみで名も所もわかりません、順吉は、ミサ子の失望を見かねて貯金を出しきつて新らしいヴァイオリンを買つてきてくれました。ミサ子は、喜んで、一心に一つの作曲をしました。その曲が、音樂コンクールで一等になり、ミサ子は樂壇の大勢力家久保田先生に見出されて、師事する事になりました。ところが、偶然にも、遺愛のヴァイオリンを買つたのは久保田先生の令弟であり、無事にそれはミサ子の手に歸りました、ミサ子は、久保田先生のところに引取られていきましたが、悲しい眼をして別れを惜しむ順吉に「あたしいつまでも昔のミサ子よ、順吉さん」と、心深く誓ふのでありました。

……物語りの伏見信子さん

節句遊戀の手習

―三人生醉―

後七時よりの常磐津（東京）

淨瑠璃 常磐津政太夫
同 常磐津兼喜太夫
同 常磐津政壽太夫
三味線 常磐津政壽郎
上調子 常磐津文七

「夜風、山風、富士おろし筑波ならひに兩國のサアオイ船公、河岸を突いてたつし「素敵に船が出たぢやアねえか「名にし京の夕景色、三人乘の騷ぎ船「アゝ暑いこつちや、〱、「イヤ又大河の凉しい事わえ、オゝ凉しい〱、「イヤ同じ騷ぎでも、こちは野郎の三すくみ、あつちは三味線たぼ入りぢや、「へゝ畜生め「エゝ、大分心意氣をやッつけるぜ「アレを肴に、此大盃でぐづと一つばい吞廻しとやりませうか「ヤ、そいつはよからう「コウそんなら一つ注いで下ッし、ト無茶苦茶酒の筒茶碗エイア、好い氣味だ、浴びるばかりの瀧吞に「浮いて機嫌の癖」と癖「三人生癖これならん「エイなんだかむか〱、しやくにさはつて來たぜ「ハ、、、、、何んだ癪に障つた、ハ、、、、癪に障つたが可笑しい、ハ、、、、ハ、、、此奴は可笑しい〱、ハ、、、、ハ、ハ、ハ、、、「コレサノ〱そのやうにわけもない事に腹を立てたり可笑しくもない事に笑つたり、そして貴公達の顏がノヤ、六チにも七チにも見えて、そこら當りが、ぐゆり〱とマ、廻るやうでノヤ何うしたらよからうと思へば、何だか悲しくつて〱、エ、、、、思はず涙こぼれ雨、たもとをしぼるばかりなり「エ、、といつて、これが泣かずにゐられやうかア、、「何故よ「アレあの新内を聞くにつけ、浮川竹の苦界の身でも實に思へばあの通りわしも、ちつとやそつとはかかり合つて見た覺えもあれど、今の此身にエ、ひしと當つて、熱い涙が、エ胸先へどうも〱、悲しうて男泣きに此樣にと二人がたもとにとりすがり、へ、、、、「ハ、、、、「エへ、、、「へハ、、「ハ、、、「へゝ、、「わけも涙のすゝり泣き「腹のハ、、皮よる、「ムゝ、、、、ハ、、、、ハ、、、大笑ひ、「何んだ〱、先刻からぐつとむしをおさへて聞いてゐりやア、泣と笑ひの掛合だアエ加減にしやアがれ「オヤまた怒つたぜ、何うも丸くねえ、とかく浮世はいろとさゝ、ハヽ、コレ吞みたまへ、凉みたまへ、さゝのかん主はちつとぬるいが、さあ機嫌直して一つお上り何んだ、機嫌直して、〱がべらぼうめ凉みに出て、ほえやアがることはねえアレ見や、向ふの船で美しい姉さんが、可愛いらしい手でアレ何かすらア、エ、モシモシお押へなら、お合を致しやせうぜ「簾ばつたりおちこちの、人目と言ふも知らばこそ、じつとよりそひさゝやきて「オヤ、大分おれを安くするな「ハ、、、コレサ〱三人かうして極粹なことづくしで思いればつ洒落やうと思つて來たのに、そんなにハ、、、、腹を立てたり、へ、、、、泣いたりするも、野暮ぢやアねえか、そつち達ア、酒の上が惡いと思つたら、水の上までやつぱりわるいぜ、ハ、、アレ隣りの船で何がはじめるぜ、通り者のね言ぢやアねえか、おつう調子を合はせるぜ「逆つて出やる肌薄な、姿を見れば胸せまり「オ、違えねえ〱、その胸迫りが尤もだ〱〱「コレサ又泣くかア、、、困りもんだぜ「それだおらア氣にくはねえ「ヤ、ところを是非とも「いやだよ「コレ〱〱〱吞ましやませ、のほよほ〱〱さんな〱またあろかいな吞んだらモ一ッ、エ、廻しやアがれ「オオさうぢや〱〱おさるは目出度やナ泣くも笑ふも「腹立つも「さゝに興ある船あそび、月もおよばぬ、雪もおよばぬ、ながめ花火の賑はひは、高尾、川一、吉野丸、家臺ばやしに騷ぎ唄、繁華の御代のさまなれや。實にや九日の菊の香の――の、殘る嬉しき常磐木の――一枝葉茂りて榮えける〱

東京よりの 俚謠

後七時卅五分

一、岡本新内（秋田）
唄 ぽん子
三味線 武田千代
上調子 千成

二、秩父機織唄（東京）
唄 古田ヒコ
同 田邊スイ
擬音 中虎之助
同 本田仁外

「百舌鳥が高鳴く秋晴れ日和、庭の夜具地がよう乾く「山は紫うぐひす鳴いて、

……ぽん子さん……

秩父よいとこ機どころ。「靑い月夜にすいとが鳴いて、夜機織つてる　の音。「一杼一　心をこめて、主に着せたい秩父縞。「秩父よい處山紫に、匂ふ谷間で布さらし。「可愛いあの人染絲さらしさぞや寒かろ川風に。「糸は千筋もつれはせぬが私が主故氣がもめる。「國を出るときや涙で出たが、明日は嬉しい年期明け「戀の願かけ機神樣へ、キと添たい月詣で。「容姿望みで貰ふた嫁は、踊上手で機上手。

三、緣故節（東京） 山梨縣 崎町有志

向つて右より田邊スイさん、本田仁さん、中虎之助さん、古田ヒコさん

文藝

戲曲 寒い夜の話(上)

山下明

兄(二十六歳 滿洲國××部官吏)
妹(二十一歳 ××銀行タイピスト)

二人の借りてゐるアパートの二階の六疊

ある寒い夜

(丁度夕飯の後かたづけを濟ましたところらしい妹が煙草を吸ひ乍ら新聞を見てゐる兄にたづねる)

妹 兄さん、紅茶でも入れませうか?

兄 うん、そうだね

(妹、紅茶を二つ入れてきて滿腹らしく兄の前に横なりに坐る。兄スプーンで茶椀をかき廻し乍ら

兄 レモンないのかい?

妹 えゝもうなくなつたわ。

兄 ぢやウイスキーを持つて來い。

(兄は妹の持つてきたウイスキーを入れても一度かき廻わしてうまそうに飲む。

(妹も紅茶をのみ乍らのんびりとした調子で話しかける)

妹 兄さん、今日兄さん一緒に歸つてゐたあの滿人の娘とても可愛らしい人ね、あれ誰なの?

兄 あれか、あれは俺の所のタイピストさ。

妹 あら、そう兄さんも仲々いゝ所があるのね。

兄 何が、馬鹿な。

妹 あゝして二人仲良く肩を並べて話し乍ら歩いてゐるの、とてもよく似合ふつて

(兄は讀んでゐた新聞から目を離し妹の方を見て)

兄 誰が?

妹 今日一緒に馬車に乘つて歸つてゐたでせう、あの貞江さんがそう言つてたわ。

兄 おい〳〵、馬車に乘つてまであんまりきよろ〳〵するなよ。みつともない。それにあんな變な聲を出して…あの人誰? つて聞くから、僕の妹です、と言つておいたが、少しは愼めよ。彼女など滿人でもとても愼み深いからね。

妹 まあ、やに賞めるのね。

(妹面白がつてからんで來る)

兄 賞めるんぢやないさ。本當のところがさ。お前など二十一にもなつて。それだからお嫁の口もないのさ。

妹 まあひどい。一體あの娘さん幾つなの?

兄 十八さ。

妹 月給は?。

兄 三十圓さ。

妹 兄さん、同じタイピストでもあたしや七十五圓貰つてますよ。

兄 おい〳〵あきれた奴だな。七十五圓はよく知つてるよ なにかと云や七十五圓か、お前もいよ〳〵オールドミスになつたものだね。七十五圓貰ふより女は早く結婚した方が身の爲だぜ。

妹 あんなこと。それより兄さんが早くお嫁さん貰ふといゝわ。下らん喫茶店の女給の話ばかりせずにさ。

兄 貰ふさ。もう直ぐ貰ふさ。

妹 おや。まあ、本當?

兄 嘘を言ふか。

妹 相手の人、何處の誰なの?

兄 ………………?

妹 兄さん。まさか妹のあたしに默つて結婚するんぢやないでせうね。

兄 馬鹿な……

妹 だつたら言つたつていゝぢやありませんか。

兄 ………………

妹 それ御覽なさい。兄さんも隅に置けない誰? 何處の人? まさか喫茶店やカフエーの女給ぢやありますまいね。

兄 馬鹿な!

妹 ぢや言つて御覽なさいね 言へないなんて、臭いわ。

兄 ぢや言つてやるがびつくりするな。今日一緒に歸つてゐたあのタイピストさ。

妹 え? あの滿人の……

兄 そうさ。

妹 まあ? びつくりしちやふわ? 小さい時から少々突飛な兄さんだとは思つてゐたが、まさかお嫁さんに滿人の娘を貰はうなんて思はなかつたわ。

兄 そうだらう。だから日本の女なんて口ぢやいやに大きなことを言つてゐる癖に氣が小さくて、好かんのだ。あの娘なんか顔は綺麗だし、スタイルはよし頭も仲々いゝし、それに日本語はよく分るんだから何處へつれて行つても恥かしくはないさ。

妹 そりやきれいなことはあたしも認めるわ。

兄 そうだらう綺麗で頭がよくて女らしく愼しみ深かつたらそれでいぢゝやないか

童話 A

海野重夫

私が歩くと森が急にざはめき立つて、眞赤な焰を吹きはじめた。電報屋が來て白い手袋を片方だけ置いて行つた。

私はひとり眠るのだが、胸の重さにふと眼を開けると、白い花のように手袋が手に觸れるのだ。

やさしい、美しい人の思ひを殘してゐるように、白絹の薄い手袋が、魔法使のように私の胸に被さつて來るのである。コカイン溶液の仄かな香を、花びらのしめつぽさで、私の鼻腔に吹きつけながら…………

新年文藝懸賞募集

かねてより滿洲國文化機關として王道文化の藝術運動に努力しつゝある本社では、輝かしい昭和十一年(康德三年)の新春を迎ふるに當り、この意義ある門出を祝し、本紙新年元旦號を飾るため、左の項目に分つて愛讀者より清新の意力に溢れた文藝を募集することになりました。冀くば、新らしき年を迎ふる諸兄姉の自信に充ちた作品を殺到させられんことを!

募集規定

A 種目(賞金)

1・創作(小說、戲曲)
▲四百字詰原稿用紙二十五枚以內
一等(一篇)…賞金二十五圓
二等(二篇)…〃各十圓
選外佳作……隨意本紙購讀券呈す

2・長詩
▲四百字詰原稿用紙四十行以內
一等(一篇)…賞金十圓
二等(二篇)…〃各五圓
選外佳作……隨意本紙購讀券呈す

3・短歌
▲用紙は官製ハガキ、一人三首以內
一等(一名)…賞金五圓
二等(〃)…〃 三圓
三等(〃)…〃 二圓
佳作隨意……本紙購讀券呈す

4・俳句
▲用紙官製ハガキ、一人五句吐
天(一名)…賞金 五圓
地(同)…〃 三圓
人(同)…〃 二圓
佳作…本紙購讀券呈す

5・川柳
▲用紙官製ハガキ、一人五句吐
天(一名)…賞金 五圓
地(同)…同 三圓
人(同)…同 二圓
佳作…本紙講讀券呈す

右の中創作及び長詩は作品詮衡の嚴正を期するため、別紙に認めた「題名及び作者氏名」を原稿と同封、余白半枚に作者略歷を添えること(郵稅不足その他規定に抵觸するものは一切採らず)

B 選者

▲創作……編輯局同人
▲詩……加藤郁哉氏
▲短歌……八木沼丈夫氏
▲俳句……石原沙人氏
▲川柳……靑龍刀氏

C 締切期日

本年十二月十五日(十五日の消印あるものも受附く)

D 發表

本紙明年度一月一日號紙上、賞金は發表後一ケ月以內に送附す

E 宛名

原稿は全て「新京永樂町四丁目新京日々新聞社編輯局」宛、封筒及び葉書表には必ず「新年文藝懸賞應募原稿」と朱書すること

新京日日新聞社

選外小說 心中した女(完)

今村榮治

(四)

彼は船に乘つたものゝやうな氣持でゐた。ウイスキーが內臟の底まで滲潤したのである。女の身の上はかうであつた。

女の母親は藝者だつた。父はある華族さまだときかされたが女は父の顔を知らなかつた。女は美しいものに憧れてゐた。戀愛といふものは男女が互ひに肉體を一つに結びつけやうとする生理的衝動がプラトニックな假面を被つてゐるものだといふ人々の考へを眞正面から反對した。そんな考へは純眞な、神聖な戀愛の汚辱だと思つてゐた。結婚といふものをしないことに決めてゐた。性の交涉は卑劣な行爲だと思つてゐた。淫らな、卑猥な性生活に快感を感じてゐるらしい人々の顔をみたゞけで女は嘔吐を催すのだつた。お互ひが信じ相ひ同情し合ひ愛し合ひさへすれば嫌らしい肉體の交涉なくして充分幸福であり得る、と思つてゐた。丁度、この女とおんなじ考への男がゐた。二人は戀愛した。それは全く清純な戀愛だつた。幸福な五年が夢のやうに經つて男は二十五になり、女は二十二になつた。そこで男に結婚問題がもちあがつた。男は百萬長者の一人息子だつた。親孝行者だつた「夫れ、孝は德の本なり、敬のよつて生ずる所なり」といふ孝經にある言葉を常に口にしてゐた。だから男はハタと困つて了つた。大いなる不幸を行ふ思ひで、結婚はしないと言つてみた。が親は承知しなかつた。仕方なく、それなら現在戀し合つてゐる女と結婚すると言つた矢ッ張り親は女が藝者の娘だといふことを楯にとつて承知しなかつた。女はそれを知ると男に言つた。「孝行だから致方がないわ、あなたゞけは結婚しなさい、でも私のこと忘れないでせうね?」「うむそれはもう、貴女と僕とは永遠の戀人なんだよ、死ぬまで戀し合はうね」そして男は親ぎめのある貴族の令孃と結婚する事にした。が、いよ〳〵婚禮日の間際になつて男は戀するものを別にして愛のない結婚をすることに大きな苦痛を感じた。女も苦しくなつた愛する男の體が他の女によつて汚されるといふことはたえがたい不幸であるといふ思ひが來た。かつて覺えたことのない嫉妬が火のやうにめら〳〵と燃えあがつた。同時に男を必要とする生理的慾望が抑えても〳〵抑えきれないやうになり、夜は眠られず、寢床の中でひと晩ぢゆう轉々とする夜が幾夜もつゞいた。

こゝまで彼はハッキリきいた。あとは……といふ考へは抂げられなかつた—死ぬことが當然なことのやうに、二人はどうしてわたくしだけ死にきれずに——滿洲へ——諦めきれないものを諦めなければならない心は——一人かうして——おんなじ世の中……とかいふ女の言葉が所々彼の朧な聽覺神經にふれるやうである。彼の體は中空にふわり〳〵浮いてゐる氣持だつた。彼の眼の前には美しい世界があつた。一つの星が靜かに位置を替へると他の星らもそれに倣つて位置を替へた。やがて星らは位置をはなれて亂れ舞ひはじめた。銀河が高く低く、西へ、東へ、移動してゐる。無數の蝶々が赤や白の衣を着て、翩々しく舞ひ踊つてゐる彼は蝶を追つてみたり星が近づいたら星を追ひまはしたりした。それは美しい世界であつた。樂しかつた、東の空が淡紅色に染まる頃、彼は肩をゆすられハッと我に還つた。一瞬、美しく亂舞してゐた萬象が、ピタッと音のある感じで各その位置に戻つた彼の傍に不氣嫌な顔の巡査が立つてゐた。女はもう傍にゐない、樹の梢に音たてゝ風がでゝゐた、柳の枯れ葉が枝をはなれてキリ〳〵落ちてくる「寒いのにこんなところで眠るやつがあるかッ!」と巡査が怒鳴る。彼はよろ〳〵とたちあがつた「君、死んだ人のことなんか忘れたまい、過去のことは忘れ給へ生きてる人間は明日のことを考へなけァならないんだ」彼はふら〳〵歩きながらそれを言つた——一〇、一四——

頭腦の過勞を癒やす 新『食餌療法』

ゴルチエ博士提唱の頭腦過勞者向の食餌と新藥用菌療法

文明が大きなスピードで進展するにつれて人間が内外から受ける刺戟は非常に増加し、ために劇務にたづさはる大半の現代人が頭腦の過勞から神經衰弱に陷つてゐる樣に思はれます――これは、神經系や精神上の病氣に罹るものが年々著るしく多くなり、精神病者の人口に對する率が二十五年毎に二倍に増加する樣なありさまを示してゐるに見ても想像出來ます。

この文明病ともいふべき神經衰弱で、逆上せて頭がガンガンしたり、耳鳴りしたり、一寸した事にも癇癪を起し

飽きつぽく 根氣がなく

なつたり、又は眠くて仕方なく、注意力散漫、物忘れがちの樣な人々が、食物攝取の注意によつて之を防ぎ、癒すことは強ち至難ではありません。

フランスのゴルチエ博士は、體重が普通で筋肉勞働を少ししかしない中等程度の知識勞働者が神經衰弱を防ぐには左のカロリーに基いて獻立を作るのが一等當を得たものであると稱してゐます。

その割合は、一日のカロリーとして蛋白質が約三二八カロリー、脂肪が四六〇カロリー、含水炭素が一四五〇カロリーで之に加へて

果物や野菜類を用ひるなら

總カロリー二四〇〇位になりますが、この程度が頭腦過勞者の食餌として最も理想的だと主張してをります。

處で之を學ぶにしても、これは體重七〇瓩平均のフランス人の頭腦勞働者に對する基準であつて、せい／＼體重五〇瓩平均の日本人では總カロリー二〇〇〇もあれば充分であると思はれます。

一體、カロリーを標準にして頭腦勞働者や神經衰弱者の食餌を定めるのは、果して之が萬人に

適應して效果 あるか何うか

疑問があり、また之が實行するにしても食品のカロリー表と照らし合せて食餌を調理しなければならぬ不便が伴ひますが、要するに頭腦の健康には便通、睡眠、食慾の調和が絕對に必要であるといふことは如何なる場合にもいへます。

近來頭腦勞働に從事する人々の榮養劑として好評を博してゐるものに、ヘーフエといふ藥用菌の全成分をそつくりそのまゝ藥にした若素（わかもと）があります、これにはフイチン、レチ、ンなどゝ同樣な有機性の燐化合物が澤山含まれてゐて、腦神經に榮養を補給する直接の效果も充分ありますが、一方、胃腸の機能を活潑にして、

便通をとゝのへ 消化をよくし

榮養狀態を非常によくする結果から來る效果はまた一層大きいものがあります。

神經衰弱は一種の榮養不良が原因であるといふ觀方をする學者もある位で若素（わかもと）によつて一般の榮養がよくなることは神經衰弱の治療の上に大變よい結果を齎します。

殊にこれが普通の健胃劑や整腸劑と異つて多種の活性酵素が作用して諸器官細胞に活力を與へる結果は睡眠、安眠にも效果あります

食物に 好き嫌ひのある子供

食物の好き嫌ひが甚だしいと攝取する榮養分が偏り、爲に發育を妨げ、抵抗力が弱くなるから、どうしても矯さなければなりませんが、これは我儘から來た惡癖といふよりも生理的の機能異常から來てゐるものが多く、殊に最近、學者の研究によれば日本人の榮養中に兎角缺乏しがちなヴイタミンBの不足に原因する場合が非常に多いと云はれてをります。榮養不良、不眠、神經衰弱に效果のある若素（わかもと）は、また優秀なヴイタミンBの給源として既に定評があります。その他にも諸種の榮養素や活性酵素、ホルモン等を含み、消化機能を活潑にしますから、食慾を誘發し從つて偏食の癖も自らなほつて來ます。

案外多い 子供の神經衰弱

學業成績と榮養との關係

六歲の子供のかいた繪＝グードエナフ氏の「描畫による智能檢査法」によるとこの繪は十七點（六歲の標準點は十四點）

この子供は蟲が強いとか、この子は神經質で困ります、とか訴へる母親が近來非常に多い樣でありますが、斯うした子供には神經衰弱に罹つてゐる者が案外多いのであります。

アメリカでは全小學兒童の三分の一は神經質症狀を有してをり、その數は實に廿年以前の三倍になつてゐると報告されてをります。我國では、どういふ風になつてゐるか未だ的確には判りませんが、精神病者が殖えてゐる處からみると、必ずや增加してゐるに相違ありません。

この種の神經衰弱の子供の生理狀態を申述べますと、一體に瘦せ型で榮養不良に陷つてをり、時々頭痛を訴へたり、また

睡眠

は充分に行はれません。夜、風が吹いて戸障子に當つて音がすると泥棒が來たのではないかと恐れたり、一般に物に好き嫌ひがあつたり、食慾はすくなく、そして直ぐに疲勞し易いのであります。

學課におきましても、あるものは秀でゝゐるがあるものに對しては殆ど出來ないことがあります。――精神薄弱兒かと思つて專門醫に診て貰ふと、智能には別狀ない場合が多いのであります。

斯うして、子供を神經衰弱に陷らしめるのは、家庭に於ける誤つた法による場合が多いのでありまして、之は、

榮養

優れた榮養酵素劑である若素（わかもと）を服用させて榮養狀態がよくなると共に子供に以前の樣な神經衰弱症狀が見られなくなつたといふ家庭が多いのを見ても判ります。

若素（わかもと）に惱神經の榮養になる燐、レチ、ン等が含まれてゐることも確に神經衰弱に有效でありますが、この藥がホントにすぐれてゐるとされてゐるのは單に惱神經の細胞に賦活して、消化を助け食慾を增進して全身の榮養をたかめる點にあります、若素（わかもと）を服用して子供の神經衰弱の

症狀

が消えて來る――即ち、體重が殖えた、食慾がすゝんだ、運動ずきになつた、熟睡する樣になつた――などゝいつて親達が喜ばれるのはこの細胞の賦活によつて全身の榮養が昂まつたことに大きな原因があります。

榮養の良否が神經衰弱に密接な關係がある以上、延いて學業成績に影響のあることも容易に想像出來ますが、これに就ては東京市衛生研究所から興味ある數字が發表されてをります。――それによりますと、調査學童一五二五〇名中、榮養甲で學業成績甲の者六七三四名、榮養丙で學業成績甲の者は六八七名にすぎません。

この樣に、榮養狀態をよくし、神經衰弱に效果の著るしい若素（わかもと）は東京芝公園大門際、榮養と育兒の會（振替東京一七〇〇番）から粉末劑と錠劑の二種が一日四五錢にも當らぬ廉價で發賣されてゐますが、近來その廉價を利用して、效果疑はしき類似品をお勸めする藥店もありますから御注意下さい。

氣も狂ふかと心配された 神經衰弱を克服して

（兵庫）山内明

私は「錠劑わかもと」を引續き服用して居ればよかつたのですが、自分の身體の調子が良かつたものですから、それから暫らく服用することをやめてゐました。（中略）神經衰弱の方がぶり返し、毎日々々恰度今時分の氣候の如く頭が常に薄紙をはりつけた樣に重々しく、一時は氣でも狂ひはせぬかと毎日云ふに云はれぬ悲しい氣持を抱いてゐました。そして人々の樂しげに働くのを悲しい氣持で眺めて居りました。（中略）ところが私が毎日しんどさうにさうしてゐるのを母が案じまして「お前はこのごろ「錠劑わかもと」を服まないではないか、それでそんなに身體がしんどいのだらう」と云はれて私もやつと氣がつき、早速當地小林藥局に馳せつけ「錠劑わかもと」を買求め服用しだしました處、あれほど頭が重かつたのが好くなり、一時は氣も狂ふかと思ふ位であつたのが今は何處かにけし飛んでしまひました。そして朗かに活動してゐます。今では「錠劑わかもと」は私の再生の恩人だと感謝して居ります（後略）

見よ國都に誇る 非常時徴兵風景
籤のがれにならぬやう祈願 願叶つてお禮の供餅

徴兵檢査で甲種合格を宣告された壯丁が入營祈願百二十日遂ひに願叶つて輜重特務兵に徴兵され願解きに餅一斗供物を贈つた非常時にふさはしい話……

話題 の主人公は原籍熊本縣天草郡上村新田、現住所市內吉野町二丁目二十八番地峯長春堂內製菓職人西山義人（二一）君である、同義人君は昨年四月內地から來京峯長春堂に働き、傍わら青訓に學び店でも模範職人として同僚に可愛がられてゐたが本年六月一日新京商業學校で徴兵檢査をうけ當日甲種合格を宣告された、男子の本懷遂げるを得たりとその夜から毎夜十二時過ぎ新京神社に到り『籤のがれしない樣に』『妹が看護婦として立働いてゐる台灣兵にとられる樣に』と願建てしてゐたものであつた、そのうち十月二日聯隊區司令官から待ちかねた通知狀が西山君に屆けられた、胸を踊らせて開封してみれば果して「輜重特務兵」としてあつた、輜重特務兵ではいさゝか落膽したが籤のがれでなくてよかつたと、胸をなで下して十月二日で宮詣りは止めて、昨十九日新京神社々務所にいたり

右の 樣な次第を語り祈願のお禮にお供餅一斗を供へたいと申出でた、そのお餅一斗は西山君が主人峯氏に依賴して主人からもらつたものだが、峯氏もこの西山君の美擧に感激して喜んで餅を西山君に提供したものである

感心な青年 峯直氏語る

右につき店主峯直氏は語る 西山君はいつも眞面目に働き青訓にも進んで出てゐたがこの間『こうして新京神社にお供へを贈りたいから お餅一斗吳れ』と申出でたのでこの愛國心に燃へた青年に感激して一斗分だけの餅を西山君にやつた次第です

關東局關係 けふ勳章傳達式

滿洲事變當時第一線にあつて軍と共に拔群の勳功をたてた關東局員に對する勳章の傳達式は二十日午前十時より關東軍司令部に於て南軍司令官より關東局總長に傳達、更に關東局に於て局員に傳達式を行ふ筈である

滿人も加はり 旺んな見送り
實業部の熊谷君入營の驛頭

入營壯丁の見送りを盛大にと聲高らかに叫ばれてゐるのに拍車をかけて實業部農林技術員養成所では同所員熊谷光博君が朝鮮咸興步兵第七十四聯隊に來月一日入營のため十九日午後四時發列車で出發したが出發に際し同養成所では八十六名からの滿洲人官吏も打ち連れて入營祝の幟を押したて驛頭にいたり熊谷君から見送りの日滿人に挨拶を述べ、滿人代表は送別の辭を述べ萬歲を三唱し、賑かに出發、こゝにも日滿親善非常時風景を濃く印した

救世軍の元老
高城中佐今朝來京

救世軍東京本營の高城中佐夫妻は七十の老軀を提げ滿鮮各地傳道行脚のためさる八日以來大連をふり出しに滿洲各地で傳道を行つてゐたが今二十日午前七時着列車で來京、今夕六時半から公會堂で集會を開き、明二十一日午前七時發ひかりで京城經由歸東するが今夕の集會には市民多數戰友の來聽を歡迎する、なほ高城中佐は十八才にして救世軍に身を投じ日本救世軍の發達に努めたが、さる年傳道中暴力團の一味に右手を棍棒で打たれ右手は全く自由を失ひ左手で筆をとつてゐる

神の審判講演

去月開戰式を擧げた救世軍新京支部では今回東京本營より來滿、現時代に最も必要なる精神界に貢獻なすところあらんと大連を初め沿線各地に於て講演會を開催しつゝ來京した高城中佐及同夫人を迎へ同氏の講演を聽く可く講演會を來る二十日（水）午後六時半より記念公會堂に於て「神の審判」演題のもとに開催することゝなつたので、多數の聽講を希望してゐる、尚同氏は三十余年の歷戰奮鬪を重ねた勇將で山室中將と共に日本救世軍史上に永久に輝く至實的な人である

金組役員會

新京金融組合役員會は十八日午後五時より『すし竹食堂』に於て行はれたが約四時間に亘り左の如き件につき協議された

一、組合新加入申込者決定の件
一、組合員出資讓渡の件
一、大藏省の低利資金協定の件

故貴志喜四郎氏の 記念碑が建つ
亡き友を憶ふ福田氏らの 美し、友情の發露

行暮れて歸る濱路に心勇み われ玄海の波に呑まれつ

かうした辭世を殘して他界した故關東軍經濟顧問貴志喜四郎氏に對する吾等の記憶は未だ新らしいものあるが、氏の大學時代の同窓である日本國粹會長福田德久氏ら同志によつて新京櫻木町陸軍御用地內に記念碑を建設中のところ最近漸く竣工した、碑の高さ廿一尺、碑面は前國務總理鄭孝胥氏、碑背辭世は荒木前陸相、經歷は小磯中將の染筆で、工費約六千圓を以て河田晃二氏の請負になつたものだが、同碑建設までには前記福田氏が今はなき親友の心事を憐み如何にしてかその遺志を後世に傳へんと日夜心膽を碎き、同志二、三を得て今日漸く竣工を見るに至つたので、なき友を憶ふ福田氏の切々たる友情こそ誠に涙ぐましいものがあり、地下に眠る貴志氏も定めて滿足してゐることであらうと云はれてゐる（寫眞は竣工した同記念碑）

貴志氏略歷

貴志氏は佐賀縣の人、明治二十七年同縣嬉野町に生れ幼にして父を喪ひ慈母の手に養育せられ、幼にして俊敏夙に神童の譽高く鄕里の中學校を卒へ鹿兒島七高に入り西鄕菊次郎先生の庭訓に浴し大西鄕の遺敎を慕ひ、言動も他の學生と異なり風丰も偉大にして六尺に垂んとする貴志氏は、大西鄕の面影さへありと許せられて居た、進んで東京帝大に法經科を修め、志操益々堅く常に精神修養と身體の練磨とを以て念となし、故山岡鐵舟先生の白山道場に起居して心膽を練り、或は鎌倉圓覺寺にば禪して心を三昧無我の境地に遊ばしめ當代學生と道を異にして居た、遞信省に奉職して令名高く次で大阪三品取引所に入りて功績高く、滿洲事變以後、軍の經濟顧問として就任し、大に劃策する所あり將來を囑望せられ荒木大將其他の將軍の信任厚く、滿蒙の經濟工作に功績あり、然るに一朝時事に感ずる所あり、歸國の途次、玄海波上に身を躍らして他界の人となる、時に昭和八年十二月十五日

貴志喜四郎氏記念碑

銀貨のチヨツキを着た 邦人があつた
北支旅行から渡邊警部歸る

十月二十五日から本月十八日まで二十五日間に亘り北支上海方面に出張してゐた警備課渡邊政雄警部は十八日午後歸任したが北支上海方面の狀勢につき次の如く語つた

十月二十五日新京を出發熱河から北平に出で天津、南京、濟南、杭州、上海を觀、歸路青島を觀て歸つたが北平に行つた時は丁度第二回聲明發表直後で市中相當緊張してゐた、しかし通り一片の我々には政治的の動向はどんなになつてゐるか武官室で聞いて始めて解つたやうな次第だ、袁良市長は盛んに古蹟廟宇の修築をやつてゐたが市民は『あれは金を儲ける爲めにやつてゐるものだ』と笑つてゐるものと『近く滿洲國皇帝を迎へる準備だらう』などいふデマを飛ばすものなどいろいろの見方をしてゐるやうだつたが要するに支那人には國家觀念などいふものは更になく自己の懷中を肥やすことに汲々たる狀態である、上海では陸戰隊射殺事件、邦商襲擊事件等に際會したが既に新聞に報道されてゐるのと變らない市中は鐵兜で武裝した陸戰隊や工部局の警官で要所々々を固められ極度に緊張してゐる、武官室などの意見をいろいろ聞いて見たがとにかく英國の勢力を根本的に驅逐せぬ限り侮日行爲は繰りかへされるのではないかと思ふ今一つは在留邦人の覺醒である、幣制問題が起ると銀のチヨツキを着込んだ密輸邦人の淺ましい姿をまざまざ見せつけられたが同胞とは云へ變な氣がした、工部局の警察も見學し種々話を聞いたが上海共同租界には今十五、六萬の各國私娼が跋扈してゐるといふことだ永安公司、先施公司、新々公司等の大百貨店には毎日三千人位の私娼が出入してゐるといふことだが我々日本警察官には一寸考へられぬ物價は銀の關係で新京あたりより遙かに安いやうに思つた（寫眞は渡邊警部）

十七年の 夫婦生活破綻 離婚の公判
萩原一家を繞る第二回公判

既報、滿鐵地方事務所經理係長萩原準並に同妻リヨに係る離婚訴訟の第二回公判は十九日午後二時から總領事館裁判所で花輪裁判長係、原田書記生下田檢事々務取扱立會の下に證人調べが開廷された、この日傍聽人特に婦人連は定刻前傍聽席に陣取つて開廷を待つ、傍聽席の最前列には出廷を求めない原告萩原準氏が顏を現はし被告並に原告代理辯護士の申請した證人の訊問を熱心に傍聽してゐたのは特に人目をひいた、裁判長は午後二時開廷を宣し、證人新京醫院々長塚本良禎、同小林さだ子、原告實兄、同女中進藤ミヨの連名に對し型の如く身元を訊ね終つて被告申請の證人塚本良禎氏の訊問に入るや證人は被告萩原リヨが大正八年滿鐵醫院で勤務當時非常に眞面目で且つ健康體であつたことを證明し、更に原告被告兩名が鐵嶺で芽生へた戀愛結婚は十七年の今日に至るまで他人の羨やむほどの圓滿なものであつたことを詳細に亘つて述べるとゝもに被告が原告から毆打され右大腿部に皮下溢血を生じてゐたことを說明し、被告に有利な證明をなした、終つて檢事々務は證人に對し脊推炎は外傷によつて發生するか又は十五年前脊推炎が發見されてゐたかと質すと證人は推炎は結核性によるものであるが外部からの强打で發生する時もあると答へ、つゞいて十五年前からは發見することが出來ないものであると答へた、ついで裁判長は原告申請の原告實兄の訊問に入る、裁判長は證人實兄に對し證人の長女リウ子を原告の養女にすることに決定した經緯を中心とし、その他被告が原告に對し暴行をなした事實を質したところ證人は三十分に亘つて原告に有利な證言をなした、この時裁判長は五分間休憩を宣した後被告申請の小林さだ子さんの訊問に入る

裁 證人は被告と何年ごろから知合つたか
證 大正十五年六月ごろからでした
裁 親密な交際をなしたのはいつごろからか
證 本年七月二十九日ごろからです當時私の社宅と萩原さんの宅が近隣になつたからです
裁 被告の性質は
證 實に溫厚で且つ明朗な方で夫婦の仲の良い事は地方事務所中の家庭第一番です
裁 被告は夫に對し亂暴をすると云ふがそうした事實を知つてゐるか
證 そうしたことは知りません、それはおそらくありませんでせう
裁 原告が姪リウ子を連れ歸つてからリウ子と二人で散步してゐたことを聞いたか
證 被告から聞きました、又一度三人連で散步してゐるのを見ました又神崎夫人もリウ子さんが來てから萩原さんの奧樣に對する態度が變つてゐるが變な事にならねばよいと言つてゐました
裁 リウ子が武田夫人のところに行き私が叔父さんと一緒になれば世間はどう見るでせうかと言つたことがあるか
證 被告から聞きましたがその後武田夫人とあつたとき夫人は今迄萩原さんは奧樣を可愛がつてゐたがリウ子さんが來てからすつかり變りましたリウ子さんとの間が普通でない樣ですリウ子さんは普通のお孃さんではないですよと云はれました
裁 原告が財産は全部リウ子にやると云つた事があるか
證 被告から聞きました、それから奧樣は後見人にすると言はれたそうです
裁 夫婦別れの話が出てから原告が被告に對して一萬圓をやると云つたことがある樣だが聞いてゐるか
證 被告、原告兩人から聞きました、原告の言では一萬圓もやれば小間物商を出しても生活は出來るから、金をやる時は武田所長、小林（私の主人）と立會の上渡すと云つてゐました
裁 原告が不在中被告は毎夜ダンスホールに行つてゐた樣だが事實か
證 そんな事はありません、奧樣は私と三回ダンスホールに行き、一回活動に行きました、奧樣は私達にかくれてダンスホールへ行く樣な方ではありません
裁 十月三日被告は原告に毆打され瀕死の重傷を負つたその時原告は被告に對し死んでしまへ、カモイに紐を吊るしてやるから首を吊れと云つた樣だが聞いたことはあるか
證 聞いてゐます三日の翌朝奧樣が訪れ昨夜は大變な目にあひましたよ、散々毆打されまして兩足の大腿部から腰の附近一帶が黑くなりはれ上つて座ることも出來ない樣になつてゐました、又顏も普通でなくはれてゐました
裁 その後原告は被告に食事をやらないかと云つたので被告は仕方なく證人のところへ行き食事數回に亘つてとつた樣だが事實か
證 本當です
裁 地方事務所員中で夫婦仲が良かつた二人が離婚になるにいたつたことはどこに原因があると思いますか
證 金の問題とリウ子さんのことによるのではないかと思はれます
裁 世間には從妹が結婚すると言ふことはあるが姪と同棲するなど聞いたことがないが本當に原告とリウ子は階下で同棲してゐたのか
證 私は同居してゐないから原告とリウ子さんが階下で何したかそれは知りません

この時傍聽者は爆笑した、終つて女中の訊問に入り閉廷七時次回公判は未定

日支親善機
「かりがね」號壯途に就く

【臺北十九日發國通】臺北、福州間日支親善飛行は十九日午前九時七分曩に內臺飛行に成功した「かりがね」號に加賀飛行士外四名が搭乘して臺北飛行場發壯途についた、同機には親善使として坂本外事課長が總督より福建省主席陳儀氏宛のメッセーヂを積み齋藤學業課長も同乘してゐる

金剛寺の催し

市內祝町二丁目高野山金剛寺では之れまで毎月二十日二十一日には弘法大師御命日と密敎婦人會の修養日として法要說敎を行つて來たが本月から一般の希望も有り種々と讚經御詠歌の講習等をなして從來に增し一層有意義に行ふ由多數の參拜と講習を希望すと時間は毎日共午後七時より約三時間

罷めた後も 官消傳票使用

さる七日午後六時頃から八日午前一時頃まで市內富士町二丁目十三番地三幸飲食店にあがりこみ六圓三十五錢の飲食をなしいざ勘定となると懷中無一文なるところより勝手な文句をつけつひには暴言を吐き手がつけられず警察につき出された本籍長崎縣北松浦郡江迎村長坂三浦日二十番地生れ住所不定無職北部鷹吉（三二）につき新京署で嚴重取調べの結果、同人は元滿洲國某官廳に勤めてゐたが當時の官吏消費組合傳票を使つて滿洲國官吏なるが如く裝ひ滿洲國消費組合より數回に亘り百卅圓のオーヴアー一着、七十圓の洋服、六十圓の大島紬一疋八十圓の懷中時計、十圓の女草履三足等を詐取しそれを市內數軒の質屋に入質してカフエー、飲食店等で浪費したこと判明、なほ餘罪ある見込みで引續き取調べを進めてゐる

修警察總監逝去

危篤を傳へられた首都警察廳總監修長餘氏は十八日午後十一時二十七分近親者に見守れながら永眠した、享年五十一歲、告別式は二十一日午後二時新京記念公會堂で盛大に執行される

氏は光緒十二年奉天商埠地に生れ營口日語學校卒業、二十歲にて營口警察總局第一分科員を振出しに官途につきその後高等官警察試驗に及第、營口警察署長、吉林全省警務所長を經て事變後現職に榮進した人物である

滿洲計器移轉

滿洲計器股份有限公司は今回新京特別市豐樂路一〇五號一郡會館に移轉した電話番號は本局（二）二一六九（重役室）（長）四六八七（庶務、會計科）四六八八－二一七三（長）二一七四（營業科）一四二一（倉庫）

朝鮮人民會聯合 會員來社

新京總領事館構內に新築の全滿朝鮮人民會聯合會の藤記義治、金義用の兩氏は十九日挨拶に來社

竹廼家新築落成

市內ダイヤ街梅ヶ枝町竹廼家は豫て新築中の家屋が此程落成し名を三樂園と改め橋東花柳界に堂々デビューすることゝなり二十日午後五時より各方面を招いて新築落成の披露宴を催すと

佛敎青年會 座談會開催

毎木曜日を期し發會せる西本願寺に於ける佛敎青年會主催座談會は廿一日午後六時半よる光岡慈昭氏指導の下に左記の講話を聞き引續き座談會を開く由一般青年有志の來會を希望する由祝町西本願寺內講題「人生唯一の問題」 佛敎青年會

山岸善戰 選手權獲得

【大阪國通】全日本庭球選手權大會シングル決勝は午後一時半甲子園コートで行はれたが山岸善戰してメンツエルを敗り美事選手權を獲得したスコアーは左の如し

山岸 7—5 6—2 6—1 メンツエル（チエツコ）

ダーソンレス

永野首席全權を四平街まで出迎へた、駐滿海軍部の大島參謀長、全權以下が食堂車に移つた留守に半分ほど分量の減つてゐる日本の栗の籠を見付け「ほう、こりやいいものがある、さあやらう」と記者を歡待、次にはふつくらとした映畫女優のブロマイドを一記者の手帖內に見付け「やあ、これがフウ線型つていふんだそうだよ、流線型ぢやない、斷う襟頰で髮は後ろにボヤーツとしてるからね」等々

首都警察廳總監修長餘豫テ病氣ニテ自宅ニ於テ加療中ノ處十一月十九日逝去シタルニ付御通知申上候
追テ告別式ハ十一月二十一日午後二時新京吉野町記念公會堂ニ於テ執行可仕候
首都警察廳

愛よ戰ひとれ

(八十四)

(銀上演 映西化)　福田正夫　泉武久畫

鬪爭まで(一)

櫻の花が散りそめると、若葉の梢に春の陽が燃えた。地にかげらふの影も浮いて、日比谷の午後は、群れてゐる人々ものどかな顔色を見せる。――池の畔りにいま一人の青年と長髪の紳士とが向き合つてゐた。

通りかゝつたモダーンな若い女學生が、青年をみつめて、友達にさゝやいた。

「拳鬪の大瀬よ、さうじやあなくて?」

「モチ、彼氏らしいわ」

「とてもスマートね、美男よ」

「絶對的にね」

「對手の痩せさんはなに、……文士、にしては少し金持よ」

「いやあだ、文士だつて金持がゐてよ」

「この頃殊に甚だしくあるかね。僕は、文士ときめたッと……」

「純文藝じやあないわね」

「伊達男の擬似性をおびてるわ。……ヘナチョコのくせに」

「僕、名をきいてくる!」

彼女はすぐ話しの間にかけ込んだ。

「大瀬さん、今夜はたのんでよ」

「えー」

「僕達、きゝたいことがあるの……」

驚きの色を見せて、――大瀬邪雄は彼女を見た。

「なんです?」

「こちらの先生は文士さんでゐらつしやるでせう? ……曾見さんだなんていかんですの」

「違ひます。新聞作家の渡邊さんです」

「ありがたう」――

彼女はかけて行つて、友達と笑ひながら行つてしまつた。――對手は渡邊濫だつたのである。――

「おどろくねえ、……大瀬君、あんた知つてゐるんですか、あの少女を?」

「いいえ、少しも知らないです」

「ふうん、時代だねえ」

渡邊は感心したやうにうなづいたが、もし彼女達の會話をきいたら、新しい大陸でも發見したやうな顔をしなくてはならないかも知れないのである。

が、彼はすぐ話のつぎにかゝつた。

「でね。僕はあんたの心持が知りたいんです。……俊一君とも話合つたが、出來るなら、僕の出陣前にと思つて」

「わからんのです」

「どこへいらつしやるんです?」

渡邊は苦しさうに笑つた。

「たゞ、日本にゐたくない。またゐられないんです。さつき話をしたやうな顔で、慚愧に耐えないが……」

「そんなことはありません」

邪雄はなぐさめるやうにいつたのである。

「靜さんもよくいつてくれたが、それを入れるあんたも立派です。僕ははんとにうれしく思ひます」

渡邊は邪雄に箱根でおこつた日のことをうちあけて、勝美に對する彼の態度をとほさうと、邪雄の心持をたづねてゐるのであつた。

――彼は勝美が憎しがちで、あの烈しい氣象が、此頃弱々しくなつてゐることもうちあけたのである。

箱根のことを知らない春世夫人は、渡邊に彼女の心持をきいて貰ふやうに、たのんだのであつたが、

「わかつてるやうな氣がします」

と、彼はひきうけた。

彼自らも辭してくるが、渡邊はその態度を見せまいとした。

「どうです。君は勝美さんが好きかね、嫌いかね?」

東京帝國大學教授

醫學博士　故高橋順太郎氏　協力
藥學博士　故下山順一郎氏　創製

微熱を去り、食慾を進め、榮養を佳良ならしむると共に防腐殺菌の效頗る顯著なり

肺結核

肺尖加答兒
肋膜炎
肺炎
腸結核
結核性腹膜炎

慢性腸胃加答兒
異常醱酵性下痢

ファゴール

ファゴールの本質

ファゴールは、かの一時的流行藥、或は單なる榮養劑とは、全然その本質を異にし其の成分は主としてメチーレン、グアヤコール及びメチーレン、チクレオゾールより成り、其の優秀なる效力は益々聲價を高め各大學病院を始め著名醫院に於て處方、愛用せらる。

治療用として

患者に之を連續服用せしむれば、胃腸を整調し、微熱を去り、食慾を進め、體重を增加し、盜汗及び喀痰の量を輕減し、喀痰中の結核菌の出現の量を減少し、漸次病症を輕快治癒に向はしむ。

豫防用として

結核感染の不安あるもの、及び初期の疑ひある患者に、之を服用せしむれば極めて適當にて、よく不安の症狀を去り、豫防の目的を達す。

一回一錠乃至二錠、一日三回
每食後服用せしむべし

百錠入　一圓六〇　粉末廿五瓦入　一圓四五
五百錠入　七圓五〇　他に百瓦、五百瓦入あり

各地の藥店及びデパート藥品部にあり

各博士實驗報告集一手販賣元より進呈

東京市日本橋區本町三ノ一
一手販賣元　友田合資會社
電話日本橋(24)七四八　二八〇　二八一　七四七　七四九
振替口座・東京・一一九三八

製造元　三共株式會社

F.503

料亭 桐壺

梅ヶ枝町一丁目
電話三－四七九〇番

大阪商船出帆

門司、神戸(大阪行)
×印二、三等船客設備船
▲印廣島寄港

熱河丸　十一月二十日
ばいかる丸　十一月廿二日
うすりい丸　十一月廿四日
▲亞米利加丸　十一月廿五日
吉林丸　十一月廿六日
×志あとる丸　十一月廿七日
扶桑丸　十一月廿八日
うらる丸　十一月三十日
▲はるびん丸　十二月一日
(午前十時大連出帆)

切符發賣所
滿鐵沿線主要各驛及各地ジャパンツーリストビューロー案內所

船車連絡切符(往復切符は汽車二割引、汽船一割引、通用期間二ヶ月)

大連、門司、神戸間乘船切符(往復切符は復路運賃二割引通用期間三ヶ月)

專屬荷扱所
國際各地運輸會社支店

大阪商船株式會社
大連支店　電二－一五一
奉天事務所　電四－〇八九
新京事務所　電三－二二一六
哈爾賓事務所　電七－〇一

北日本汽船
敦賀直航
さいべりや丸　每一ノ日出帆(月三回)
滿洲丸　每六ノ日出帆(月三回)
雄基發前九時
清津發後五時

日本海汽船
新潟直航
嘉義丸　每九ノ日出帆(月三回)
雄基發前九時
清津發後五時

國鐵及滿鐵主要驛並J.T.Bニテ內地指定各驛迄ノ連絡切符發賣

石炭

加藤洋行

日本橋通二十五(市場横)
電話三－二〇三二番

YAMATO-YAKUBO

婦人倶樂部
婦女界　推奬
秋の家庭常備藥

梅肉エキス

下痢、赤痢、チブスに特効
其他消化不良、中毒
內臟の秋季衰弱に

八ッ目うなぎ

新京代理店

大和藥房

TEL 2371

左官材料

建築材料商

スタツク、色土等多數御入用の節御見積申上ます

奉天彌生町六番地
福屋洋行
電話長六六四六番

テイチクレコード

國産の雄! 斷然人氣絶頂!

全滿洲總賣捌元
新京
寶山洋行
電話(3)五五一六・一六六五番

36年最新荷入荷
ラヂオは一家に一台!
ゼヒ御試聽下さい

ナショナル超小型
各種ラヂオ電氣蓄音器
三球より十球まで

發京東間豐
完全聽取出來ます

ナショナル代理店
RCAビクター會社特約店
クロスレー會社

新京祝町二丁目角
電話(3)4920・5389番

東京無線新京支店

產科婦人科增設

肥後醫院

入院隨時

產婦人科
花柳病科　女醫　木村靜子

內科
小兒科　院長　肥後弘子

產院　產婆　村永房子

新京ダイヤ街老松町一六朝日通
電話五七〇九番
新設豫定電話　本局二ノ一二四五番　分局三ノ二三二九番

●廣告の御用は電(3)三三〇〇番へ●

旅の空でも變らぬ相手

神戸三宮ステーション前ネオン塔

酒 フクムスメ
ふくむすめ
灘 花木本家

●高級洋服●

冬物新柄豐富
必ず御氣に召す最新型

祝町二丁目二
石田洋服店
電話(3)三十二六番

アンマ

電六七二七
清水

金物百貨店

掛賣を廢して「現金制度」最低の値段にて皆樣へ

新京三笠町
西脇洋行
電話(3)二二四〇番

新京興安大路
新盛洋行
電話(3)三〇六番